

平成 2 9 年度

事 業 報 告 書



社会福祉法人 東近江市社会福祉協議会

平成２９年度 東近江市社会福祉協議会事業報告（案）

つながりと地域愛でつくる ④だんの ④らしの ④しあわせ

少子高齢化の進展や人口減少社会の到来は、私たちの暮らしや経済、地域福祉に大きな影響を及ぼしています。また近年、社会的孤立や経済的困窮、虐待、引きこもりなど、本市をとりまく社会環境の変化は、年々、複雑多岐にわたっています。

平成２９年度は、昨年度策定を致しました「第２次地域福祉活動計画」について市民の皆さんや福祉関係機関、団体そして本会とが、計画に掲げた６つの目標達成に向け共に地域福祉の推進のための行動を開始した年でありました。

本会におきましては、非常に厳しい財政状況下となっていることから、持続可能な財政基盤を整備するため、平成２９年度は、かつてない対策として職員の希望退職者を募り９名が応募、退職を致しました。さらに職員の定期昇給停止、役職員報酬の減額など人件費の大幅抑制を図ったところです。

また、本会が展開する介護事業においても介護保険制度の改正や利用者の伸び悩み等から運営が厳しい状況であることから、本会介護事業所の有り方や事業推進の方法、事務改善等について検討し、一部の通所事業所では定員の見直しを行いました。また、居宅介護支援事業所の閉鎖にも踏み切るなど、過去にない大きな財政改革を実行しなければならぬ事態となりました。

また、このことは、本会が実施する多くの助成事業において助成率と事業内容の変更も余儀なくされ、市民の皆様はじめ関係団体等の方々には、新たなご負担やこれまでの取り組みの変更、修正など苦慮をいただいているところであります。

こうした中、平成２９年度も認知症や障がい等により、判断能力が不十分な人への権利擁護事業の取り組みをはじめ、住民による見守り助け合い活動等の生活支援、地域での防災・減災などの市民の暮らしと命を守る取り組み等、市民の課題に寄り添いながら支援を行いました。

さらに、新しい地域支援事業への取り組みとして市域を対象とした第１層協議体、および地域を対象とした第２層協議体の設置に向けた検討を深め、介護予防につながる集いの場、生活支援サポーター養成講座等に引き続き取り組みました。

また、市民ボランティアの有り方については、モデル地区を設置する等、市民の方を交え議論を重ねてきました。

本会の大きな自主財源である会費については、市民の皆様に使途内容を具体的に示すなどして納得して納入していただけるよう努めました。

【事業内容】

目標① “お互いさん”の地域づくり ～やさしく ひろがる そっと見守り～

1. 共助の基盤づくり事業＜地域福祉課＞

年齢や性別、置かれている環境などに関わらず、身近な地域で誰もが安心して暮らせるよう、地域住民によるお互いの支え合いの取り組みを活性化し、地域全体で支え合う地域の基盤づくりを進めました。市内14の各地区に地区担当ワーカーを配置し、地区の特性や状況に応じ地域課題に関する学習会、地域福祉活動へのきっかけや参加を促進するための取り組みを進めました。また、各地区で講座を実施する際に、各地区でどこ（地区社協・まち協・計画の推進メンバーなど）に働きかけ、巻き込んで実施するのがいいか検討し、市社協だけで企画するのではなく、検討の段階から巻き込みました。そうすることにより、講座終了後も、地域づくりを進めていく上で、講座や学習会の事を活かし、継続的な支援につながりました。

①支え合い活動や見守り活動などをすすめるための学習会の開催

地 区	日 時	内 容	参加人数
平 田	平成30年2月25日(日) 19:00～21:00	平田福祉のまちプラン 実行委員会 ・話題提供 「なんだか気になる★ほっとかれない人になろう」 講師：あそびの工房もくもく屋 事務局長 田川 雅規氏 ・グループ懇談	15名
市 辺	平成29年9月25日(月) 8:30～15:30	市辺地区の見守りを考える視察研修 視察先：ハウスこのゆびとまれ/ヘルプこのゆびとまれ (京都市西京区)	10名
玉 緒	平成29年11月19日(日) 13:30～15:30	福祉活動交流会 ・話題提供「お互いさんで支え合う地域づくり」 話題提供者：市社協地域福祉課 地域支え合いコーディネーター ・グループ懇談	50名
御 園	平成30年3月28日(水) 19:00～21:00	地域での支え合いを広げるつどい ・話題提供「見守り支え合いの地域づくりを考える」 話題提供者：市社協地域福祉課 地域支え合いコーディネーター ・グループ懇談	24名
建 部	平成29年6月28日(水) 13:30～15:30	お互いさまのまちづくりを考えるつどい ・講演「“見守り活動”から“見守られ活動”へ」 講師：ご近所福祉クリエイター 酒井 保氏	24名
中 野	平成30年2月22日(木) 13:30～15:30	災害にも強い支え合いの地域づくり講演会 ・講演 「子どもたちの防災活動で地域が変わる ～支え合いの地域づくりへの取り組み事例に学ぶ～」 講師：NPO 法人さくらネット 河田 のどか氏	40名

八日市	平成 30 年 3 月 1 日(木) 19:00～21:00	楽しくイキイキ地域づくり講演会 ・ 講演 「楽しくイキイキ地域づくり」 講師 あそびの工房もくもく屋 事務局長 田川 雅規氏	41 名
南 部	平成 30 年 ①1 月 29 日(月) ②2 月 9 日(金) ③2 月 15 日(木) ④2 月 19 日(月) ⑤3 月 29 日(木) いずれも 13:30～15:30	シニア世代の仲間づくり講座 ①ニュースポーツ、茶話会 ②料理教室、茶話会 ③陶芸教室、茶話会 ④コーヒーの淹れ方講座、茶話会 ⑤懇談会	15 名
永源寺	平成 30 年 2 月 12 日(月) 19:00～21:00	“お互いさま”で支え合う地域づくりについて考えるつどい ・ 講演 「“お互いさま”で支え合う地域づくりについて考える」 講師：仙台白百合女子大学准教授 志水 田鶴子氏 ・ グループ懇談	46 名
	平成 30 年 3 月 25 日(日) 10:00～12:00	平成 29 年度 交流会「輪つなぎ」 ・ 話題提供(企画委員による寸劇) 「“私らしく”生きるご近所さん・地域とのお互いさん」 ・ グループ懇談	62 名
五個荘	平成 29 年 12 月 19 日(火) 19:00～21:00	つながりづくり講演会 ・ 講演「支え合いマップ」でつながりづくり 講師：住民流福祉総合研究所 木原 孝久 氏 ・ 演習 マップづくり	87 名
愛 東	平成 29 年 6 月 28 日(水) 19:30～21:30	第 1 回福祉委員会交流会 ・ 講演「一人ひとりの“できる”で支え合う地域づくり」 講師：ご近所福祉クリエイター 酒井 保氏 ・ 意見交換	72 名
	平成 29 年 11 月 27 日(月) 19:30～21:30	第 2 回福祉委員会交流会 ・ 話題提供 「第 1 回交流会のふりかえり」 「見守り支え合いについて」 話題提供者：市社協地域福祉課 地域支え合いコーディネーター	69 名
湖 東	平成 29 年 6 月 29 日(木) 13:30～15:30	これからの「支え合い」を考える講座 ・ 講演「これからの『支え合い』を考える」 講師：ご近所福祉クリエイター 酒井 保氏 ・ グループ懇談	24 名
	平成 29 年 10 月 18 日(水) 19:30～21:00	湖東地区福祉推進委員研修 ・ 話題提供 「あなたは地域で支え合っていますか？」 話題提供者：市社協地域福祉課 地域支え合いコーディネーター ・ グループ懇談	35 名
能登川	平成 29 年 12 月 15 日(金) 10:00～12:00	見守りネットワーク会議 ・ 話題提供「能登川地区における見守りの取り組みについて」 話題提供者：市社協地域福祉課 地域支え合いコーディネーター	46 名

蒲 生	平成 29 年 6 月 27 日(火) 19:30～21:30	地域支え合いのつどい ～ “ホンモノ” の支え合いを考える～ ・ 講演 「あなたは地域で支え合っていますか？」 講師：ご近所福祉クリエイター 酒井 保氏 ・ グループ懇談	90 名
-----	------------------------------------	---	------



【平田地区】平田福祉のまちプラン実行委員会



【五個荘地区】つながりづくり講演会

②支え合い活動や見守り活動をひろめるための映像の作成

地域や自治会などで支え合いの地域づくりを進めていくために、活動のきっかけづくりや意識啓発のツールとして映像を作成。

タイトル：『見守り・支え合いのすすめ～つどいの場編～』

2. 見守り活動の推進、支援＜地域福祉課・総務課＞

住民同士が互いに気にかけて合う地域づくりを目指し、さまざまな見守り活動を推進しました。

- ・ 安否確認などの訪問活動（見守り支援事業、友愛訪問、一人暮らし高齢者安否確認訪問など）の支援を行いました。
- ・ 給食サービス、友愛訪問・ひとり暮らし高齢者安否訪問

対象者 8 6 7 名
実施回数 1 1 9 回
延べ人数 8, 9 9 6 名

3. 見守り会議の開催・参加＜地域福祉課・総務課・在宅福祉課＞

困りごとを抱えた人や支援の必要な人が地域で安心して暮らしていけるよう、自治会など顔の見える単位で、地域住民と専門職が一緒になって話し合う場を設けました。

地区名	活動名	ワーカーの関り・内容
市辺	認知症の人への見守り、声かけ訓練	事業・運営相談対応、訓練参加協力
	柏町組会合（見守り会議）	事業・運営相談対応
御園	神田町見守り会議	事業・運営相談対応
	野村町つながり会議	
建部	建部あったかネット世話人会	事業・運営相談対応、訓練参加協力
五個荘	認知症徘徊者早期発見・保護訓練	事業・運営相談対応、当日参加協力
	川並支え合い会議	事業・運営相談対応
	山本福祉委員会	事業・運営相談対応、支え合いマップ説明

能登川	認知症による徘徊者の早期発見・声かけ訓練	見守りに関する話題提供、訓練参加協力
	見守りネットワーク会議	
蒲生	桜川西掘り所おぶさ見守り検討会	事業・運営相談対応



【御園地区】
神田町見守り会議



【能登川地区】
見守りネットワーク会議

4.『ひがしおうみし見守りフォーラム』の開催＜地域福祉課＞

気になる人や暮らしの困りごとに気づいた人が「ほっとけへん」「何とかしたい」と一歩踏み出せるきっかけとして、また市内各地域の実践を発信し、「東近江市らしい」見守り・支え合いを広めていくためにフォーラムを開催しました。

◎ひがしおうみし見守りフォーラム

日 時：平成30年1月26日（日）

場 所：東近江市能登川コミュニティセンター

参加者：180名

＜プログラム＞

○基調講演

「“気になる”からはじまる地域支え合い

～「地域のお宝」を活かして！～」

講師：仙台白百合女子大学 准教授 志水 田鶴子 氏

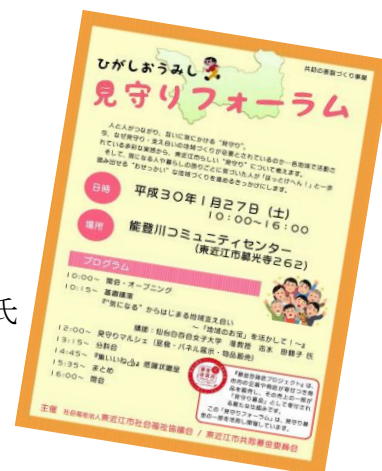
○見守りマルシェ

○分科会

- ・分科会① いろんな居場所、集うっていいね
- ・分科会② 暮らしを支える多業種の見守り
- ・分科会③ みんなが輝ける、お互いさんの地域をつくる
- ・分科会④ 災害にも強い見守り支え合いの地域づくり

○『集いいね👍』感謝状贈呈

- ・集いいねパネル展示・投票



『集いいね』贈呈式・パネル展示 - 5 -



基調講演



見守りマルシェ



分科会

◎見守りフォーラム登壇者交流会

フォーラム参加者の声や、市内に見守り活動が広がっていく機会となったことをふり返り、フォーラムの継続と東近江市で見守りを広げていくために必要なことを考える機会になりました。また、登壇者同士のつながりをこれっきりにせず、新たな活動が展開していくきっかけとなることを目指して開催しました。

日 時：平成30年3月24日（土）18：00～21：00

場 所：ファームキッチン野菜花

参加者：（登壇者）17名、（市社協）12名

〈内 容〉

- ・懇談「フォーラムをふり返って」
- ・情報交換会



5. 生活支援サポーターの養成と住民による生活支援活動の支援

＜地域福祉課＞

生活する中での困りごとに気づき、支援する人づくりを目的に口座を開催しました。また、既に活動されているグループへの活動支援や、活動の立上げ支援を行いました。

◎生活支援サポーター養成講座の開催

人々の暮らしの困りごとを地域で解決していくために、地域で身近な人を気遣う「お世話焼きさん」や、身近な地域の困りごとなどに対する「気づきのアンテナ」をはる人を増やしていくための講座を実施しました。

【平成29年12月～平成30年2月（各会場全4回講座）】

・ 3会場	延12回	参加者延	183名
平田会場	4回	参加者	29名（全 66名）
御園会場	4回	参加者	13名（全 35名）
愛東会場	4回	参加者	32名（全 82名）



平田会場



御園会場



愛東会場

◎生活支援サポーターの活動支援

(専門職や関係機関等とのつなぎや調整、サポーター懇談会への参加など)

地 区	グループ名	定例会等	ワーカーの関り・内容
御園	ちょこっとサポートみその	毎月 1 回	事業・運営・視察受入れ相談対応、懇談会準備、活動・関係機関等調整、
中野	たすけあい中野		事業・運営・視察受入れ相談対応、活動・関係機関等調整、会議準備、
永源寺	生活支援サポーター 絆		事業・運営・視察受入れ・助成金相談対応、懇談会資料準備、活動・関係機関等調整
五個荘	ほっとハート五個荘		事業・運営相談対応関係機関等調整
湖東	湖東おたすけ隊		事業・運営・視察受入れ相談対応、活動・関係機関等調整
能登川	ちょこっとサポートのとがわ		事業・運営相談対応、関係機関等調整
蒲生	生活支援サポーターコスモスの会	2 カ月に 1 回	事業・運営相談対応、関係機関等調整
	おしゃべりコーディネーターがもう	随時	事業相談対応
	長峰東ほほえみ会		
	長峰北サポート隊		
	WE love 石塔グループ		

◎生活支援サポーター同士の情報交換の場づくり

(生活支援サポーター養成講座受講者の懇談会への支援)

受講をきっかけに、自分たちの暮らす地域でできることがないかなど、考える場をつくり支え合いや見守り活動につながるよう働きかけを行いました。

地 区	開催 状況	懇談の様子・地区での動きなど
市 辺	毎月 1 回	講座終了後、受講者が集まり、地域の状況について改めて話し合うなかで、住民の困りごとや「助けて」の声があがりにくい地域であることを再認識。今後も、懇談会を重ね支え合いの仕組みづくりについて協議していく。また、地区住民福祉活動計画の推進会議でも、支え合いの地域づくりについて話し合いを進めているため、推進会議の場で協議を進めていく。
永源寺	不定期	講座終了後、受講者が集まり話し合いを進めた。 そのなかで、今ある生活支援サポーター絆に参加し、活動を始められる方や、自分の住む自治会で個人ができる事をしていくという方向性になり、懇談会としては一旦終了となった。

蒲 生	毎月 1 回	自治会での生活支援の取り組みでもある「拠り所創造事業」において、生活支援に取り組まれている自治会がある。蒲生地区全体の生活支援を関上げるにあたり、サポート活動できる人を登録し、必要なところへ支援できるような人財バンクづくりを目指して検討を進めている
-----	-----------	--

6. 地域での集いの場・居場所づくりの支援＜総務課・地域福祉課・在宅福祉課＞

○集いの場・居場所づくりについての支援

集いの場の立ち上げや運営に関わる方々の相談や、地域の集いの場や居場所づくりの支援を行うとともに、地域サロンへの助成を行いました。また、サロン運営スタッフが情報交換する場を設け、サロンが参加者・担い手の区別なくいつまでも参加できる場となるよう支援しました。その他、次年度以降のサロン活動や助成金に関して、新たな要綱の作成及び説明会を行いました。

・サロンへの活動支援

6 2 2 回（平成 2 8 年度 6 4 8 回）

・自治会活動支援

3 3 0 回（平成 2 8 年度 3 6 1 回）

○サロンへの活動支援（相談対応・活動調整）

地区	件数	のべ回数
平田	2	2
市辺	17	28
玉緒	27	59
御園	12	14
建部	17	33
中野	11	15
八日市	8	10
南部	9	12
永源寺	13	16
五個荘	51	94
愛東	29	31
湖東	28	28
能登川	130	220
蒲生	41	60
合計	395	622

○自治会への支援（相談対応・活動調整など）

地区	件数	のべ回数
平田	1	2
市辺	10	16
玉緒	1	3
御園	5	6
建部	3	3
中野	0	0
八日市	0	0
南部	0	0
永源寺	12	17
五個荘	36	53
愛東	4	4
湖東	11	11
能登川	142	160
蒲生	31	55
合計	256	330

○サロン活動支援助成

サロン活動支援助成	箇所数	回数	助成額
平成 2 8 年度	230 ケ所	2,065 回	13,421,533 円
平成 2 9 年度	240 ケ所	2,175 回	14,096,562 円

※平成 29 年度サロン助成箇所増減数 11 ケ所増 1 ケ所減

【評価と課題】

地域福祉課と総務課担当が連携し、平成29年度は新たに11ヶ所のサロンが立ち上がりました。また、サロンの現状や課題、サロン以外の地域の集いの場について把握するため、地域の集いの場アンケートを実施し、来年度以降の働きかける地域や、課題の発見に役立てました。

なお、平成30年度は、サロン助成の目的である対象者の健康寿命の増進に向け、実施者にも負担にならない、気軽に集える場としてのサロンを市内に広げる働きかけを行なっていけるよう、実際にどのような集いの場が必要なのか、地域福祉課職員と連携し詳しく状況把握を行い、集いの場の立ち上げに向けての支援を行っていきます。

7. 福祉委員(福祉推進委員)との連携＜地域福祉課＞

小地域福祉活動を進めるために、見守りや支え合い活動の担い手として自治会に設置されている福祉委員(福祉推進委員)と連携を強化しました。

地区名	活動名	ワーカーの関り・内容
市辺	福祉協力員会議	情報提供(新しい地域支援事業について)、事業相談対応
玉緒	福祉委員会 福祉活動交流会	情報提供(新しい地域支援事業について)、事業相談対応
愛東	第2回福祉委員会交流会 曾根町福祉委員会 中戸町福祉委員会	情報提供(地域のお宝さがしについて)、資料準備、交流会打合せ・調整 事業・運営相談対応 要援護者避難訓練・車いす体験に向けての事業・運営相談対応
湖東	福祉推進委員会研修会	研修会打合せ、相談対応
能登川	桜ヶ丘福祉の会 伊庭町福祉推進会	事業・運営相談対応 先進地視察研修調整、打合せ、同行
蒲生	福祉委員	サロン活動相談対応、助成金説明

8. 善意による「寄付」や「募金」の有効活用

(善意銀行、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金)＜総務課＞

寄付物品などを必要とされている方にお渡し、特に生活困窮者支援としての役割を担っています。ただ、需要と供給のバランスや払い出し先が限られてきていることから、寄付者と受領者のマッチングについて、今後、幅広い配分方法と広報についてを検討していきます。

○歳末たすけあい募金運動による生活困窮者への激励訪問を民生委員・児童委員さんの協力を得て実施しました。

- ・住み慣れた地域であたたかいお正月が迎えていただけるよう助成を行いました。今後は、助成の周知方法を検討し、より多くの支援を必要とする方に助成を広めていきます。

170 世帯 1,675,000 円

○善意銀行に寄付された金品を市民の福祉向上のために活用しました。

- ・災害見舞金事業の実施(善意銀行) 7 件(火災) 70,000 円
- ・緊急用食料品給付事業 54 世帯 109 袋

〈預託〉

◎金銭預託

	平成 28 年度		平成 29 年度	
一般寄付金	102 件	1,007,774 円	77 件	1,205,231 円
指定寄付金	31 件	1,110,154 円	44 件	2,989,753 円
自販機設置手数料収入	24 件	240,637 円	21 件	189,973 円

◎物品預託

お米、食料品、衣類、タオル、リハビリパンツ、野菜等



愛東北小学校
車いすの寄付



五峰興風会 寄附

◎リサイクル預託

使用済み切手	47 件	使用済みテレカ	3 件
アルミ缶	47 件	牛乳パック	6 件
書き損じハガキ	5 件	ペットボトルキャップ	89 件
ベルマーク	23 件		

〈預託金品等の効果的な払い出し〉

◎金銭払出 14 件 910,693 円
主な払出先 地区社協(12 件)、指定助成金支出(2 件)

◎物品払出 主な払出先 生活困窮世帯、学童保育所、介護事業所
介護サービス利用者、こども食堂、作業所

○共同募金助成事業審査委員会

共同募金が適切に助成事業に活用できるよう、審査委員による助成事業内容の審査を行いました。また、助成を受けた団体からのメッセージをホームページや広報を通して寄付者にも発信しました。

	期日	審査・検討内容
第1回	平成29年7月20日	・ボランティアグループ助成事業(赤い羽根共同募金) ・地区社協地域交流事業助成(赤い羽根共同募金) ・福祉団体助成事業(赤い羽根共同募金)
第2回	平成29年11月14日	・地区社協地域歳末たすけあい事業(歳末募金) ・歳末たすけあい募金助成事業(歳末募金) ・歳末たすけあい激励金について(歳末募金)

9. 飛び出し人形設置の支援(赤い羽根共同募金) <総務課>

交通事故から子どもの命を守るための注意喚起として、飛び出し人形の設置を支援しました。



平成28年度		平成29年度	
77自治会	77体	70自治会	70体

【評価と課題】

平成29年度の事業は平成28年度にご協力いただいた「子どもを事故から守る募金」を主な財源として製作し、市内の交通安全啓発に貢献することができたと考えます。

また、自治会に複数体必要との要望や、各自治会に一律に配布してほしいなどのご意見もあり、今後は募金実績にもよりますが、体数の増数を検討します。

10. 子どもの遊び場遊具への助成(赤い羽根共同募金) <総務課>

子どもたちが安心して安全に遊ぶよう遊具の新設・補修に助成を行いました。

	平成28年度		平成29年度	
新設	2件	300,000円	2件	300,000円
補修	11件	432,400円	2件	78,300円



【評価と課題】

年度によって申請件数等の増減が大きく、平成29年度は申請自治会数が少なくなりました。しかし、子どもの遊び場遊具を補修・新設することで、子どもたちが楽しく安心安全に遊ぶ場づくりに有効に活用できました。なお、各自治会への情報発信を様々な媒体を活用して行っています。

11. Food Day25による‘食’の支援<総務課・相談支援課>

生活に困っておられる方が、食の心配をせず、安心して新年を迎えられるようにとの思いで、皆さまの善意により寄せられた食材等をお届けし、「食」の支援を行いました。食糧支援を通し、相談窓口としての社協を市民の皆さまに知ってもらいきっかけとなりました。

また、民生委員・児童委員とも連携し、地域での見守りにもつながりました。

平成29年度は、より多くの方に事業を知ってもらい、寄付にご協力いただけるようにチラシを作成し、民生委員・児童委員や市役所、事業所を通じて広く案内を行いました。

◎Food Day25 の開催

日 時：平成29年12月25日(月)

場 所：東近江市福祉センターハートピア

・寄付件数

食料品	107 件
日用品	17 件

・参加者が Food Day25 を
知ったきっかけ

社 協	22 人
民生委員	26 人
市役所	6 人
その他	4 人

・配布件数

平田	1 件	永源寺	2 件
市辺	7 件	五個荘	2 件
玉緒	2 件	愛東	7 件
御園	1 件	湖東	9 件
建部	0 件	能登川	14 件
中野	11 件	蒲生	2 件
八日市	16 件	不明	4 件
南部	7 件		
		合計	85 件

目標② 気兼ねなく「助けて」と言えるしくみづくり ～「ようきいて」「よう言うて」「おおきにな」～

1. 「地区ボランティアセンター」の設置＜地域福祉課＞【新規】

身近な地域で、住民が住民の困りごとを聞き、解決に向けて必要な資源（人や活動など）につなげるしくみとして、地区ボランティアセンターの設置を目指しました。今年度は市ボランティアセンターと地区担当ワーカーが連携して、中野地区をモデル地区として取り組みました。

身近な居場所ができたことで、人や情報などが集まる住民の活動拠点となり、「何かしたい人」が特技などを活かして活動できる場の提供や、新たな人財発掘・交流できる機会につながりました。

◎地区ボランティアセンターの設置・活動支援

中野地区ボランティアセンター

日 時：毎週木曜日 10:00 ～ 16:00

場 所：中野ヴィレッジハウス

コーディネーター：8名（中野地区住民）
（考える会メンバー）

利用者延べ人数：774人

相談件数：11件

人財バンク登録者数：23人



書初め（冬休み特別企画）

事業・会議名	コーディネート内容
親子折り紙教室 (折り紙ボランティアおりづる協力) 歌声喫茶、大正琴を楽しむ おもちゃ図書館、おもちゃ病院 ハンドトリートメントマッサージ 書初め、中野カルタ(冬休み特別企画) 人財バンクづくり	事業・運営相談対応、 活動・ボランティア調整、 視察対応
中野地区ボランティアセンターを 考える会	会議準備



おもちゃ病院

2. 新しい地域支援事業 第1層協議体・第2層協議体の開催<地域福祉課>

市域全体で、福祉に限らず多業種が、各々の視点や得意分野を活かすことで、困っている人を早期に発見したり、制度の枠にとらわれない支援について協議する場である第1層協議体を開催しました。

また、各地区においても、生活支援コーディネーターと地区担当ワーカーが連携し、住民や多業種がつながり、困りごとの解決に向けて協議する場である第2層協議体(市内14地区を想定)に向けて、支援を行いました。

◎地域支え合い推進協議体

「いっそう元気！東近江（第1層協議体）」の開催 5回開催

日 時	内 容	参加者数
平成29年7月5日(水) 19:30~21:30	・東近江市における新しい地域支援事業、 生活支援コーディネーター・協議体についての説明 ・グループ懇談・情報交換 今、地域に必要な資源やしくみ、 第1層協議体名称の案出しなど	28名
平成29年 9月12日(火) 19:00~21:00	・地域支え合いコーディネーターの活動報告・地域の動き ・グループ懇談(第1層協議体の名称検討) ・テーマ別懇談・情報交換 ①『福祉サービス利用のイメージを変えていくために… 自立支援のためのサービス利用ということをどう地 域に伝えていくか』 ②『シルバー人材センターに寄せられる依頼内容と登録 者が希望する活動とのギャップについて』 ③『移動(移送)について』	32名
平成29年 11月24日(金) 19:00~21:00	・地域支え合いコーディネーターの活動報告・地域の動き 第1層協議体の名称決定 ・テーマ別懇談・情報交換 ①『生協の活動から見えてくる、地域や住民の暮らしの 困りごと』 ②『介護予防につながる余暇活動を支える移動(移送)に ついて』 ③『みんなが思う“自立支援”って何?』	27名

平成30年2月1日(木) 19:00～21:00	・地域支え合いコーディネーターの活動報告・地域の動き広報ひがしおうみ(生活支援特集)紹介 ・テーマ別懇談・情報交換 ①『移動(移送)支援の実現に向けて』 ②『“自立”を支援することを広げるために～当事者・支援者の意識を変えるには～』	26名
平成30年3月2日(金) 19:00～21:00	・地域支え合いコーディネーターの活動報告・地域の動き「みらいシート」を記入してみよう ・グループ懇談 ①『地域住民と専門職・事業者がつながり合うには』 ②『いっそう元気！東近江に参加して思うこと』	26名

◎第2層（地区域）への働きかけ

- ・第2層協議体、地域支え合い推進員の設置に向けて、新しい地域支援事業について説明。
- ・モデル地区(御園、中野、五個荘、愛東、蒲生)を中心とした地区への働きかけ
- ・地域支え合い推進員（第2層コーディネーター）研修の開催（参加者：50名）

◎地域の見守りや生活支援活動の推進に向けた映像作成

タイトル：『見守り・支え合いのすすめ～見守り・生活支援編～』

◎「あなたのまちの集いいね」冊子の発行

◎課題解決のためのネットワーク構築に向けた取り組み

- ・「地域とつながるためのきっかけセミナー」の開催（参加者：42名）

日 時：平成30年2月13日(火) 19:00～20:30

場 所：蒲生コミュニティセンター 小ホール

対 象：市内の医療福祉専門職

内 容：『新しい地域支援事業で目指す地域づくり

～「普通の暮らし」の継続とその暮らしを壊さない支援～』

講師：仙台白百合女子大学 准教授 志水 田鶴子 氏



いっそう元気！東近江



地域とつながるきっかけセミナー



3. 社会福祉調査の実施＜地域福祉課＞

住民基本台帳の情報だけでは把握できない、さまざまな課題を抱え支援を必要とする人の実態を、世帯単位で民生委員・児童委員と協働して調査を実施しました。

4. 災害時に備えた体制づくり＜地域福祉課＞

災害時には、災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災地域の復興支援をおこなないました。そのため、災害時を想定した災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施や、関係団体、機関との連携や支援体制づくりについて検討しました。

◎災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施

東近江市総合防災訓練では、参加機関担当者会議に参画し、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を実施しました。特に、今年度は、湖東まちづくり協議会を通じて、湖東中学校の生徒の協力を得て、団体のボランティアの受付、マッチング訓練を行いました。

日 時：平成29年9月3日(日) 7:30～

場 所：東近江市 湖東ひばり公園

参加者：83名 参加職員：34名

(民生委員・児童委員、湖東地区まちづくり協議会、湖東中学校生徒、ボランティア、探検の殿堂無線倶楽部、福祉施設、パブリックアセス推進協議会 など)

訓練内容：ボランティアの受付・マッチング・オリエンテーション訓練、

団体ボランティアニーズ調査訪問（民生委員・児童委員と高齢者宅を訪問）

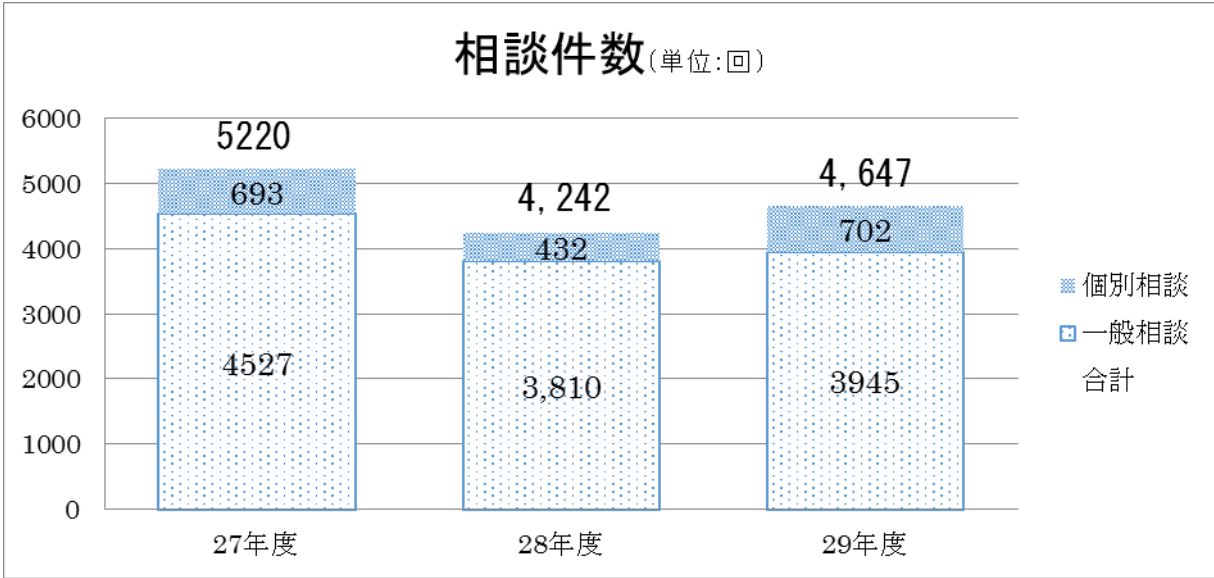
ニーズ受付訓練（民生委員・児童委員、福祉施設、避難所等の相談）

災害ボランティア活動の啓発（パネル展示・広報などの掲示）

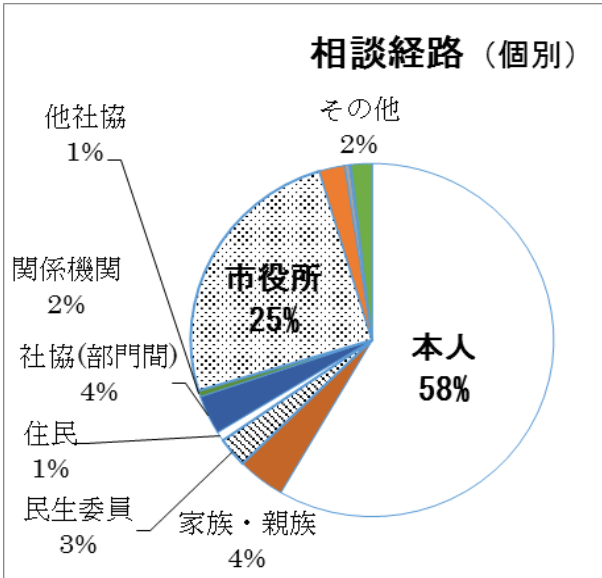
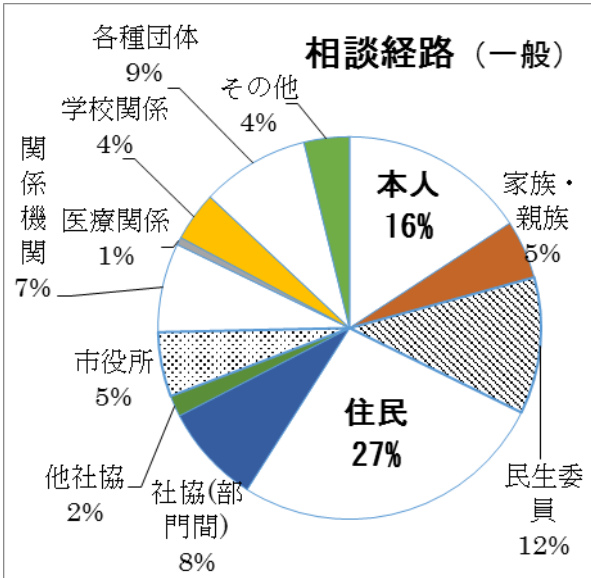
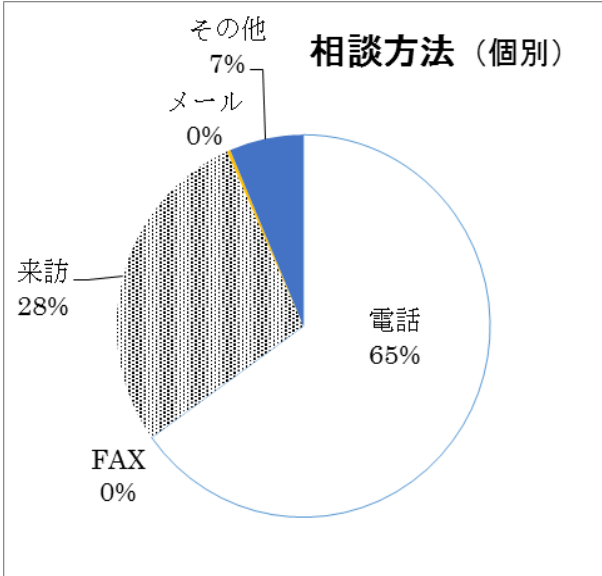
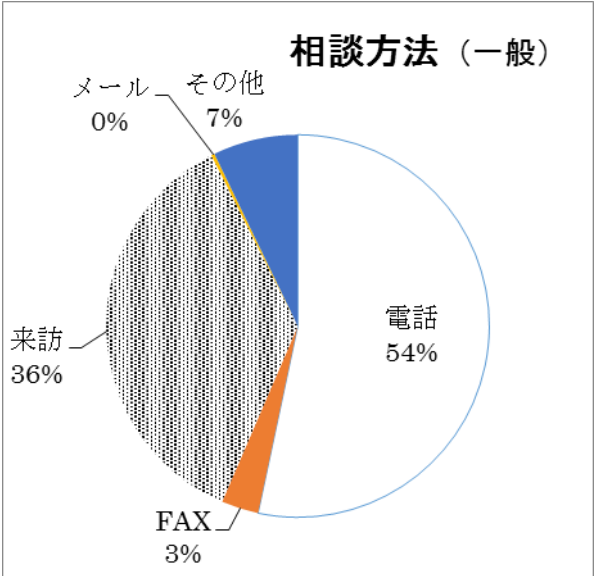


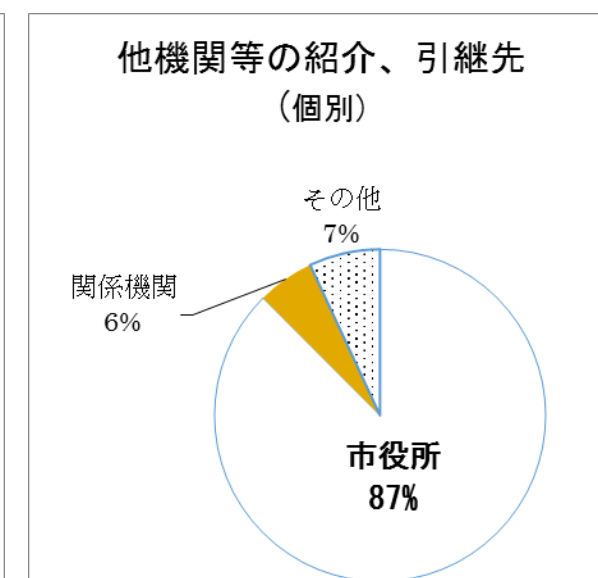
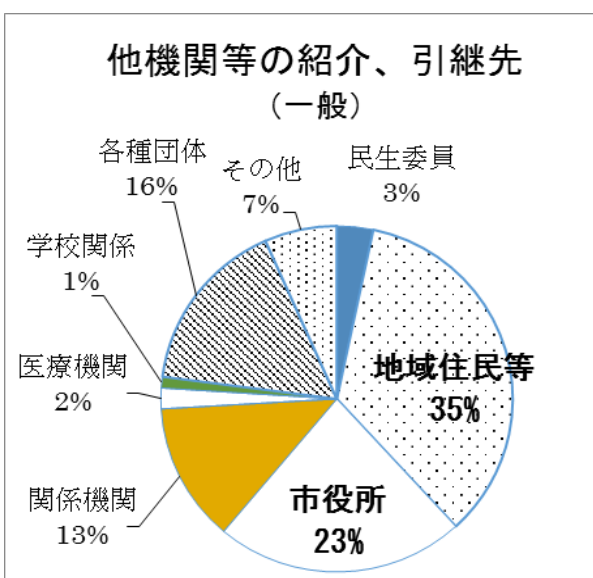
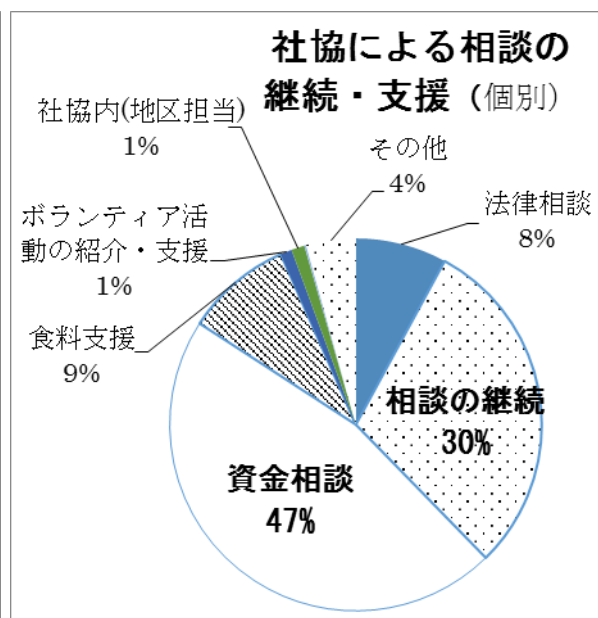
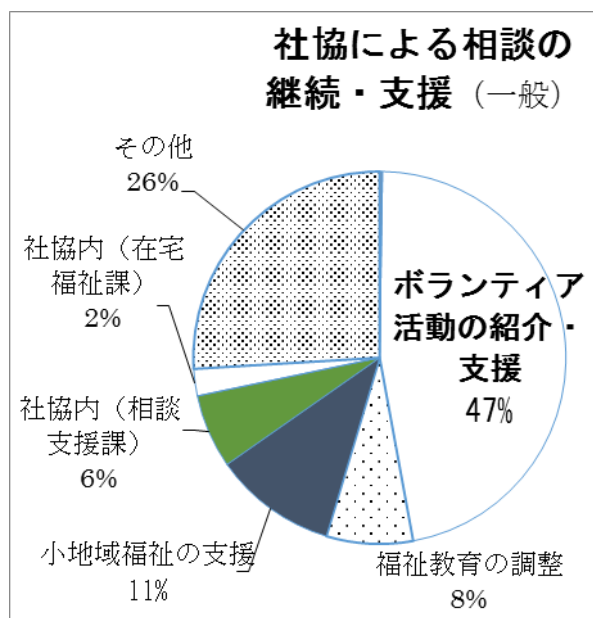
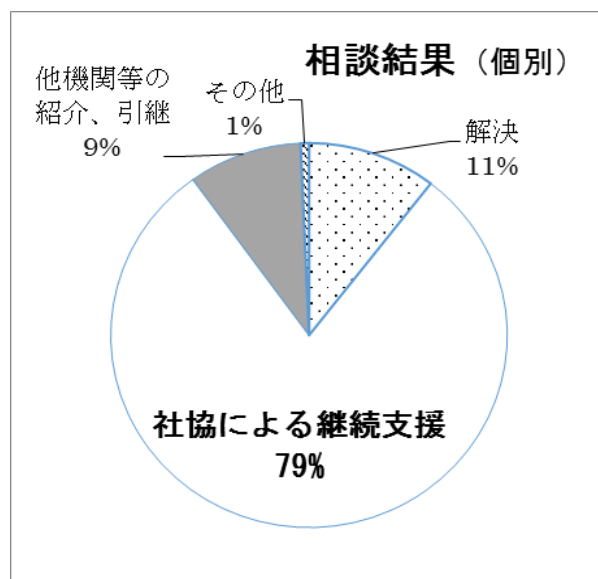
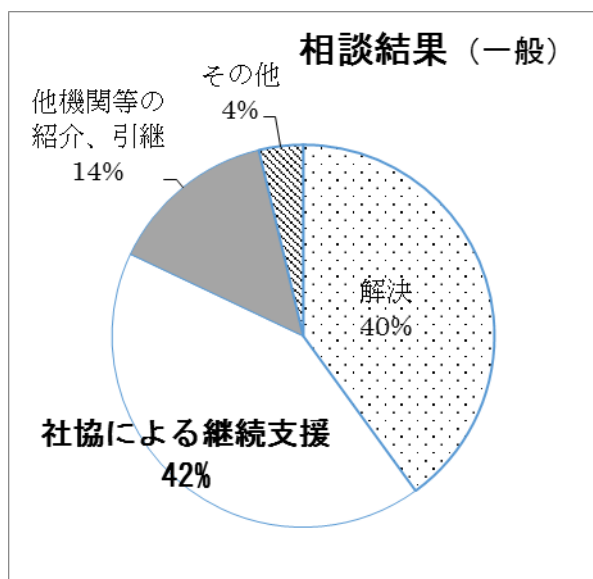
5. 職員の専門性を活かした相談支援・総合相談事業＜相談支援課＞

資格（社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・主任介護支援専門員・計画相談員・看護師）をもつ社協職員が、専門的な知識や技術と、関係機関や住民とのネットワークを相談支援課がコーディネートし、相談者の抱える困りごとを丸ごと受け止め解決する総合的な支援をしました。



※地域福祉権利擁護事業、家計相談支援事業、計画相談事業、貸付事業は含まない





6. 法律相談の実施＜相談支援課＞

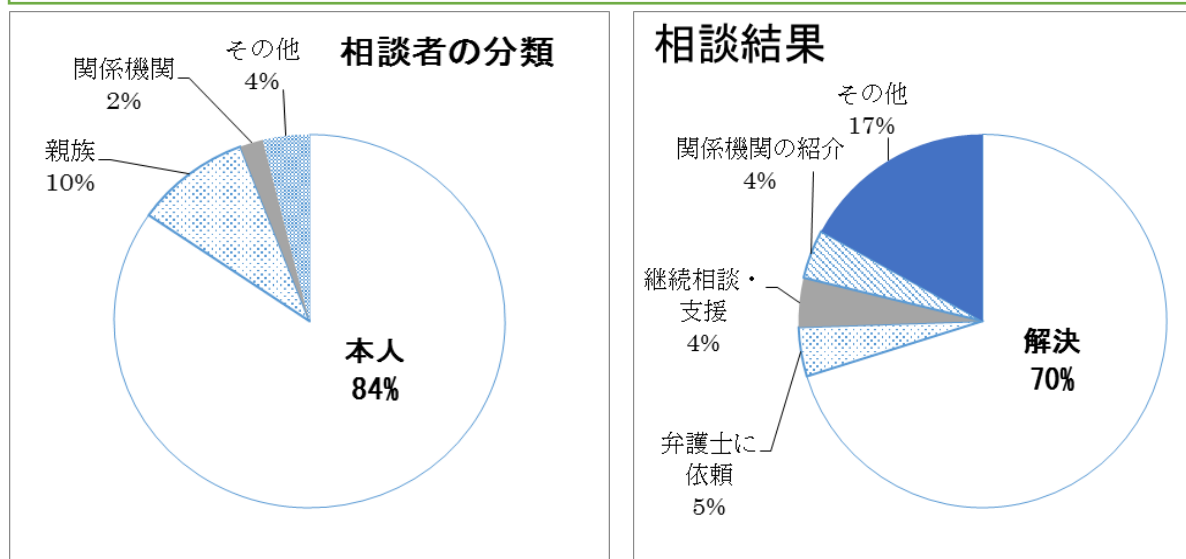
日々の暮らしの中の困りごとに、法的な立場から顧問弁護士が助言を行う無料法律相談を実施しました。

あらかじめ社協の職員が相談者の困りごとを聞き、法律的な助言を得たい点を整理し、相談も同席し、弁護士との時間が有効な時間となるよう支援しました。

相談件数 45 件

【相談内容】

離婚(調停、養育費、慰謝料等) 10 件、相続 9 件、借金 4 件、医療 3 件、交通事故 3 件
仕事(雇用、給料の未払い) 2 件、賠償金 2 件、騒音トラブル 2 件、
その他(養子縁組、示談、生活排水、騒音、借家、耐震工事等) 10 件



7. 生活困窮者への生活支援＜相談支援課＞

①家計相談支援事業の実施

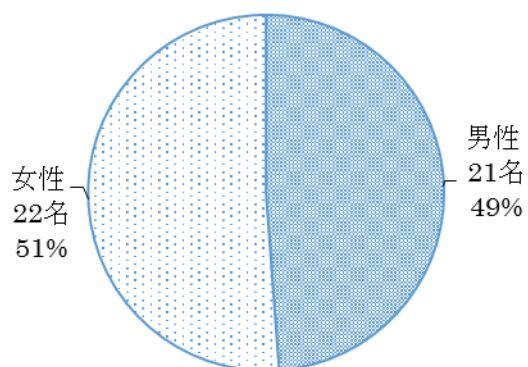
家計相談支援事業では、経済的に困窮されている方に、困窮状態から脱し、再び困窮状態にならないための家計のやりくりのアドバイスや、滞納や借金の整理などを支援しました。

生活困窮者自立促進支援事業の自立相談支援事業や就労支援等と連携し、生活困窮者が困窮状態から早期に脱却できるよう、‘家計’を入口に支援をしました。

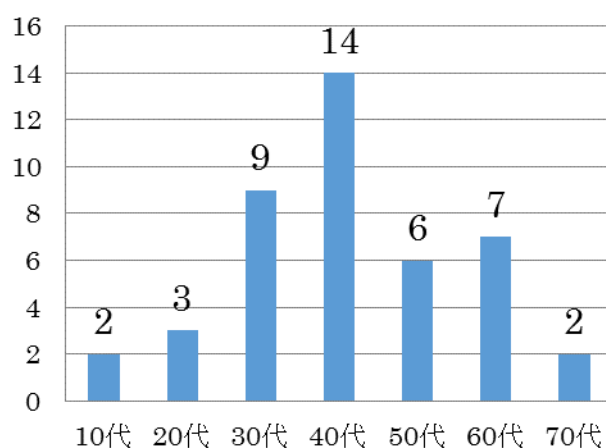
相談経路		自立相談支援事業		合計
		家計相談支援事業の プランあり	家計相談支援事業の プランなし	
人数・支援内容				
支援者数(実人数)		28 名	32 名 ※	60 名
支援回数		396	240	636
支援内容	家計表・キャッシュフロー表の作成など	87	73	160
	支援調整会議	28	4	32
合 計		511	317	828

※プランありへ移行した者を含む

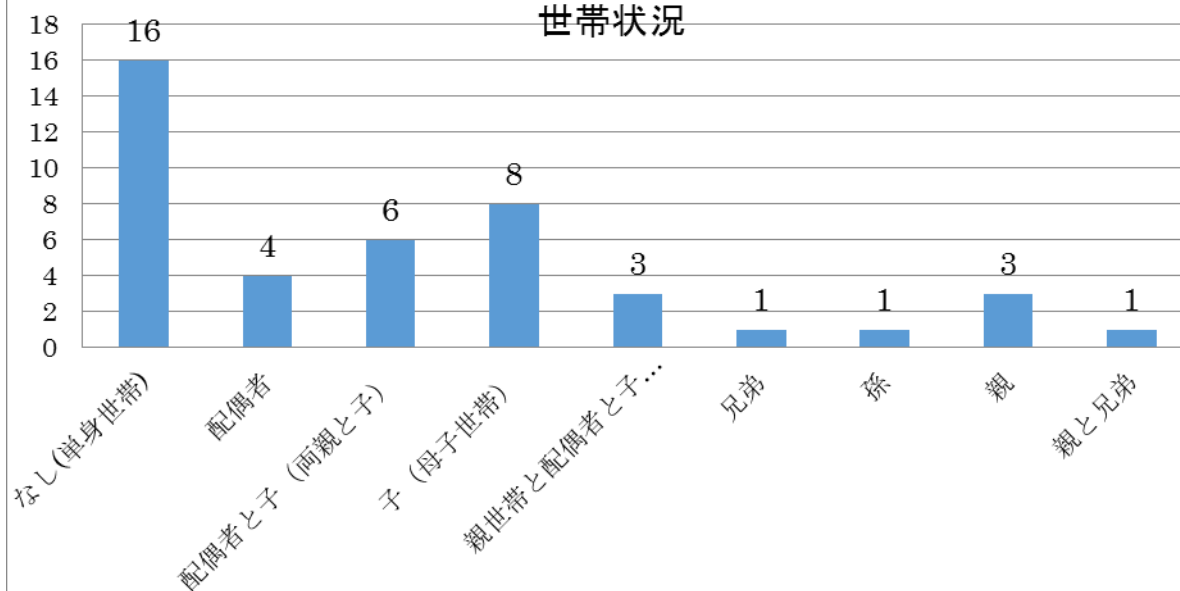
相談者の性別



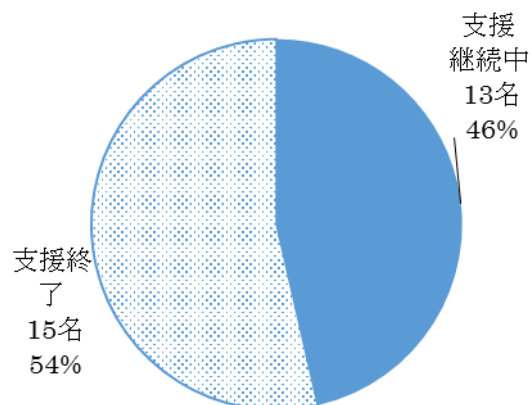
相談者の年代



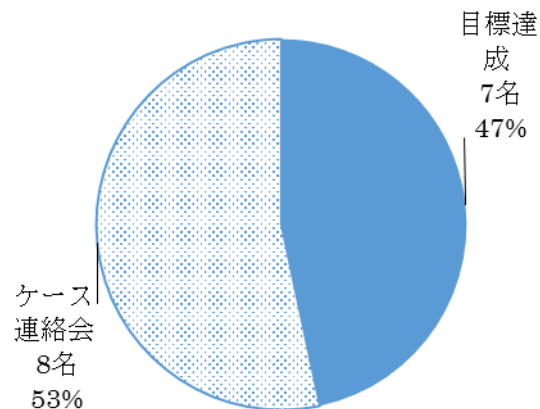
世帯状況

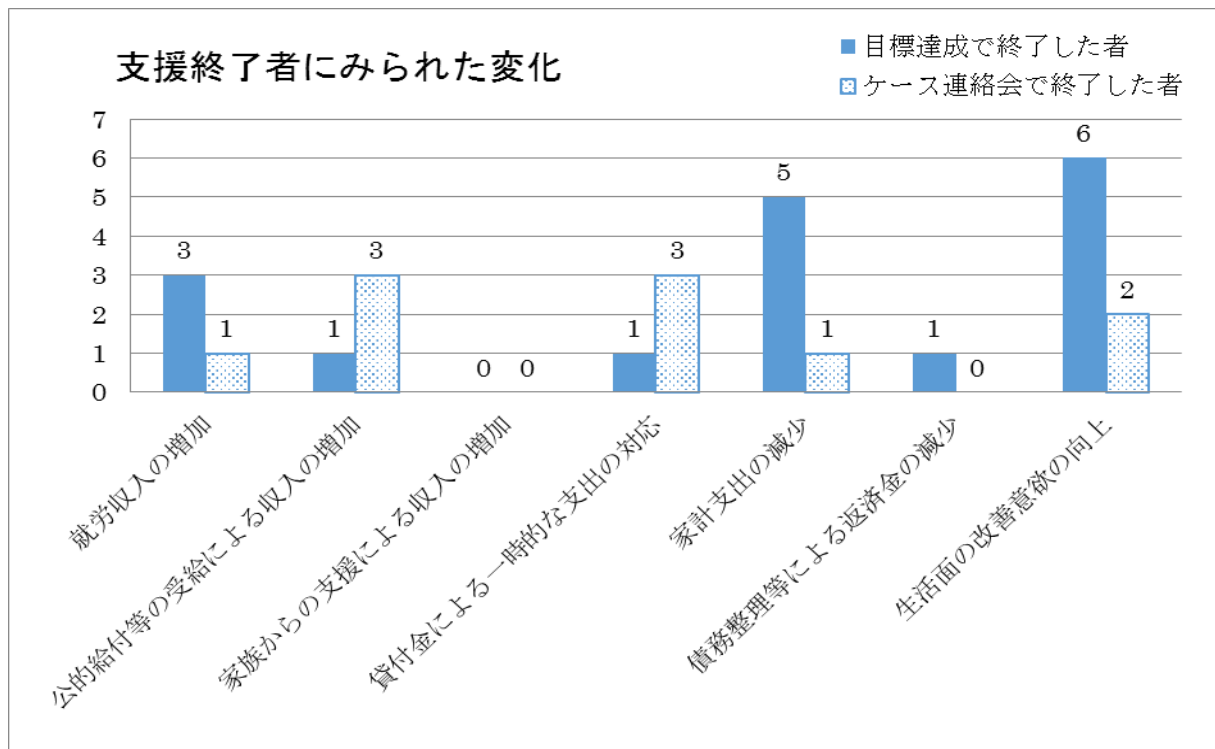
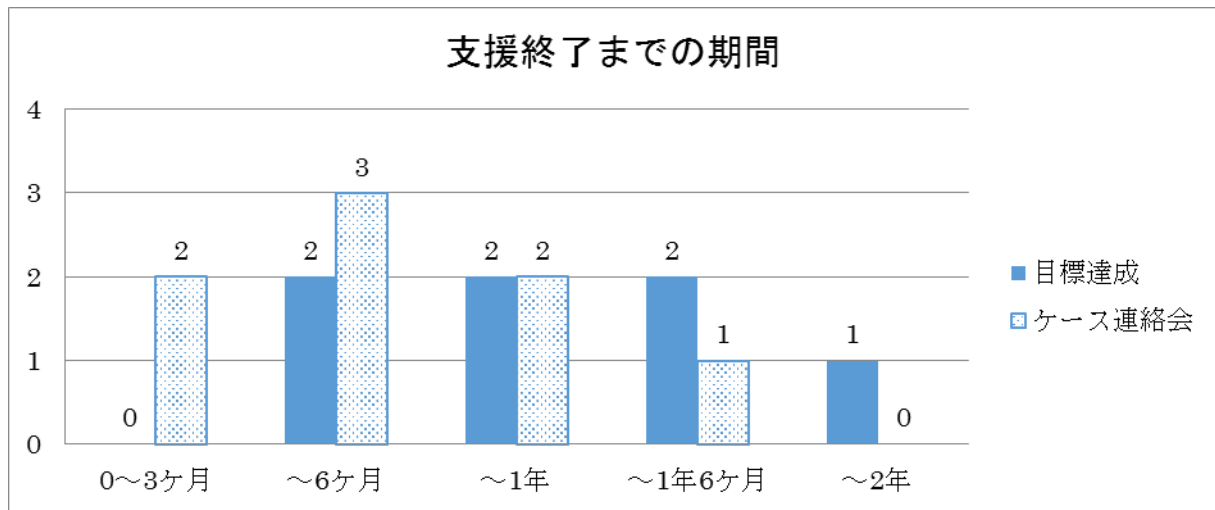


支援状況



支援終了の事由





◎家計相談支援事業ケース連絡会 12回開催

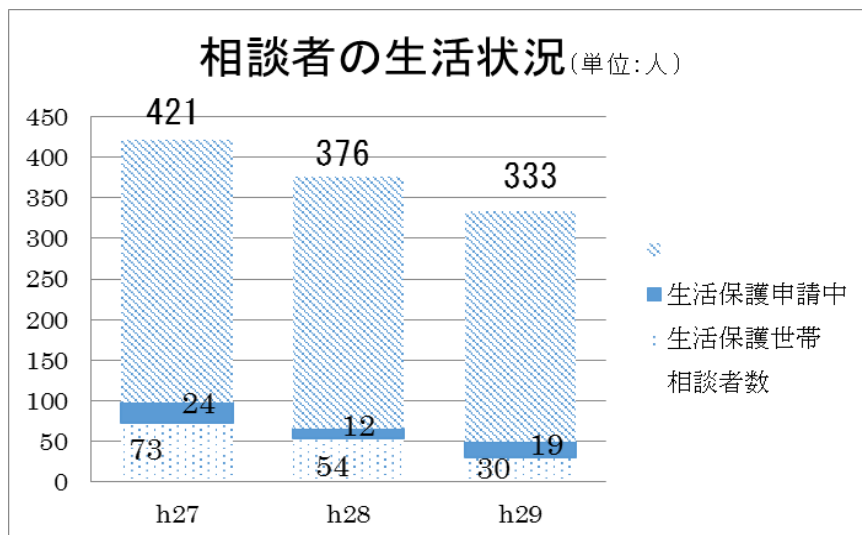
(4月11日、5月2日、6月6日、7月11日、8月8日、9月12日、10月10日、11月7日、12月12日、1月9日、2月13日、3月6日)

◎家計相談支援事業検討会 年2回(平成29年5月9日、平成30年3月2日)

②生活福祉資金・小口貸付資金事業

生活再建のために一時的に資金が必要な時に、民生委員・児童委員や生活困窮者自立支援制度の相談窓口と連携し、自立にむけた資金の貸付(生活福祉資金貸付制度)をしました。

生活福祉資金貸付制度で対応できない方には、本会独自の小口貸付資金を活用し、また、緊急食料支援や善意銀行の寄付物品の活用、S&Sや就労支援につながるなど、経済的困窮の背景にある課題に着目し、経済面の支援だけによらない相談支援をしました。



善意銀行の緊急食糧や寄付物品による食糧支援、家計相談員による家計のやりくりの助言等により、貸付件数は減少しています。

生活福祉資金

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	前年度比較
相談者数	259	272	256	△ 16
相談件数	514	509	544	35
貸付件数	24	35	25	△ 10
貸付金額	17,979,000	16,233,000	13,638,000	△ 2,595,000

貸付資金の種類

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
総合支援	3	7	2
緊急小口	4	11	7
福祉費	5	4	6
教育支援	12	13	10
臨時特例	0	0	0

(総合支援) 再借入れが 1 件。相談内容から生活保護につなぐケースが多くありました。

(教育支援資金) 市役所こども相談支援課からの相談が 9 件。市税・国保料の滞納により母子福祉資金貸付制度が利用できない方が利用されました。

(福祉費) 母子家庭の方の離婚に伴う転居費用が 3 件、生活保護世帯から自立するための転居費用が 1 件と、転居に関する貸付件数が多くありました。

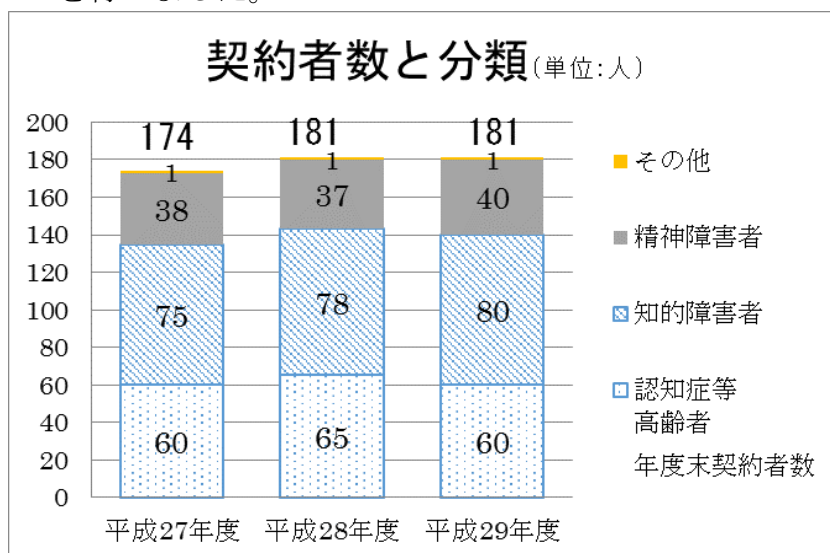
小口貸付資金

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	前年度比較
相談者数	162	104	77	△ 27
相談件数	293	183	165	△ 18
貸付件数	40	19	18	△ 1
貸付金額	1,055,000	435,000	452,000	17,000
償還件数	181	141	181	40
償還金額	1,192,200	745,000	477,800	△ 267,200

生活福祉資金と比べ、即応性と柔軟性のある本会独自の貸付は、相談支援に不可欠なツールになっています。

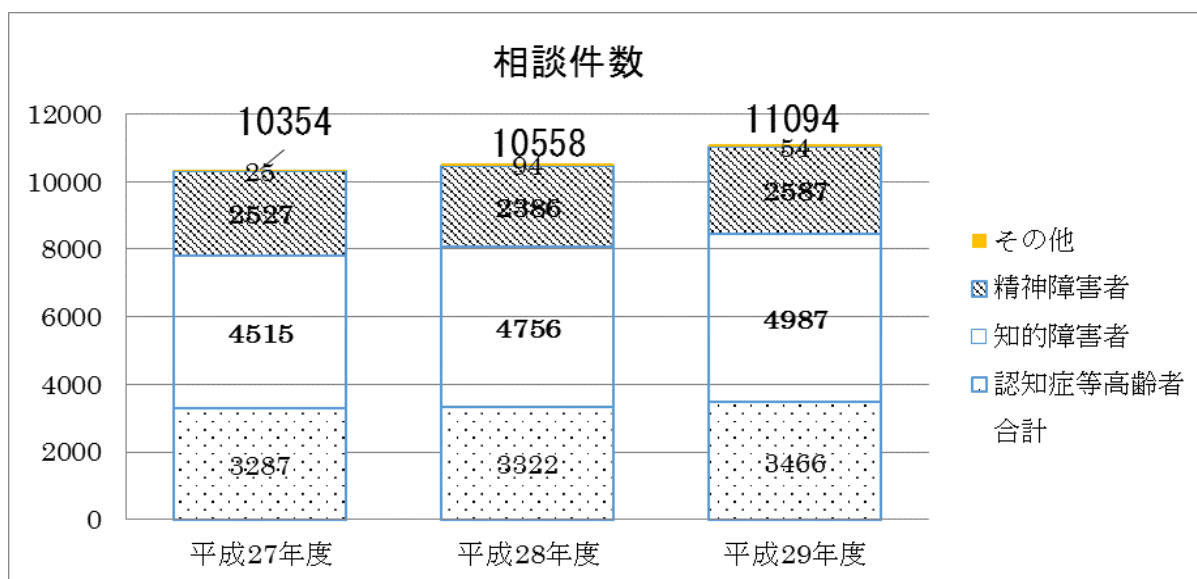
8. 地域福祉権利擁護事業の実施＜相談支援課＞

認知症・精神障がい・知的障がいを持つ方などが、地域で自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用に関する手続きや日常的な金銭の管理を中心とした支援を行いました。



平成 29 年度中
新規契約者 15 名
終了者 15 名

平成 29 年度末契約者 181 名のうち、生活保護世帯 38 件。



◎預かり書類の確認

預かり書類の適正な管理を目的に、預かり書類の確認を実施しました。

平成 29 年 5 月 25 日、平成 30 年 3 月 15 日

◎ミーティングの実施

専門員のスキルアップと適切な事業運営を目的に、月 2 回実施しました。

◎啓発活動

障害児をもつ親の会を対象とした研修会 平成 30 年 2 月 23 日

9. 成年後見制度の利用支援＜相談支援課＞

法的に権利を守る成年後見制度を周知し、必要な人が適切に利用できるよう支援しました。

① 相談数（実人数） 23 名

申立手続きの支援（実人数） 4 名

② 啓発活動

障害児をもつ親の会を対象とした研修会 平成 30 年 2 月 23 日

10. 在宅福祉サービスの実施と相談機能の充実＜相談支援課・在宅福祉課＞

（1）介護保険事業

①居宅介護支援事業・介護予防ケアマネジメント（委託）

平成 29 年度末にてケアプランセンターゆうあい、ケアプランセンターせせらぎを閉所しました。ケアプランセンターなごみについては、平成 30 年 9 月末までに閉所予定です。

介護給付請求件数 2,719 件(3 事業所合算)

予防給付請求件数 729 件(3 事業所合算)

②訪問介護・訪問介護相当サービス（介護予防）事業

【取り組み】

- ・介護予防について「他事業者が受けてくれないので」との依頼が目立ちました。
- ・予防の方の受け皿が少ないことなど、東近江市内のサービス提供の現状を行政と話し合う場をもちました。

【評価】

- ・このまま社協以外の事業者が対応しない方が増えると、多くの利用者に必要なサービスが届かなくなるのではと懸念しています。

【取り組み】

- ・社協内部の各事業所間にあった、利用者数・その介護度や訪問時間など利用時間の差、事務業務による時間外勤務の差などの不均衡をなくすよう取りみました。

【評価】

- ・時間帯では、朝（8：00～9：30）夕（16：00～18：00）の訪問依頼が多く、その時間帯の職員の確保とシフトの調整が難しくなっています。

- ・事業所により、利用者数・利用時間の差が大きいことについて、30年度の人員配置の見直しにつなげました。

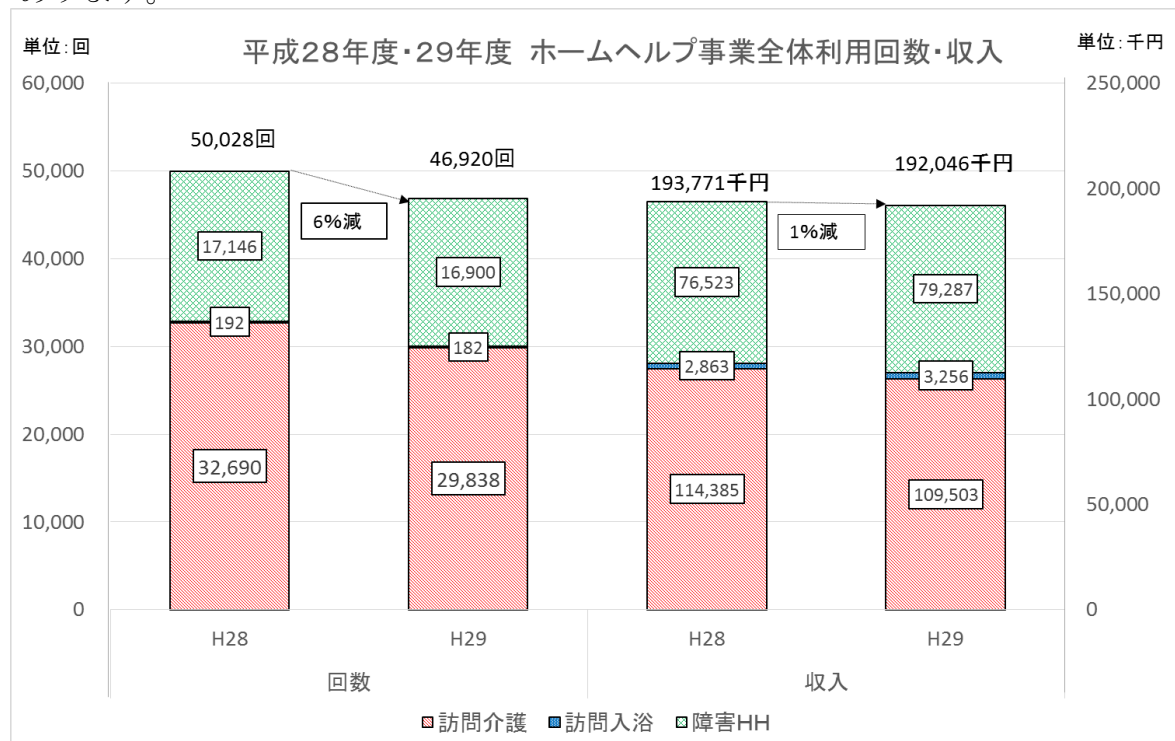
③訪問入浴介護（介護予防）事業

【取り組み】

- ・「利用して初めて知った」「寝たきりになると家では入浴ができないと思っていた」との声を聞き、もっと広く訪問入浴介護を知ってもらえるよう手造りで映像を作成しました。

【評価】

- ・終末期の利用者が多いため、月により利用回数に差が見られることから、年間予測や職員の配置が困難です。
- ・利用者のご家族から「気持ちの良い時間を過ごさせてもらえた」との声をいただきました。サービス提供体制をとることが難しい事業ですが、取り組む必要性はあります。



H29年の制度改正により、処遇改善加算率が障がいサービスは12.3%→22.1% 訪問入浴は3.4%→4.2% 訪問介護は8.3%→10%に上がったことで訪問回数減が6%に比べ収入減が1%にとどまりました。

④通所介護・通所介護相当サービス（介護予防）事業

【取り組み】

- ・利用者が望んでおられる生活や、ご自身の力を活かした介護に取り組みました。そのために必要な視点や介護技術の修得のため、年間を通して継続的な技術研修も行いました。
- ・各通所介護事業所に作業療法士を招き、各事業の特徴に合った利用者の自立につながるプログラムや介護方法、アセスメントの視点を学びました。

【評価】

- ・作業療法士から技術研修やアセスメントの指導を受けたことは、あらためて利用者に合わせた移動の方法など、残存機能を活かした支援ができるようになりました。

【取り組み】

- ・職員が不足する事業所へ社協内の事業所間で応援体制を敷き、限られた人員の中で、安定した事業運営を行いました。

【評価】

- ・応援職員には人員不足の補充だけではなく、事業所間の比較も意識してもらいました。他事業所に応援に行った職員にとっては、他事業所での経験と職員交流ができたことで自事業所の支援内容を見直すきっかけにもなりました。

【取り組み】

- ・要支援の方について、訪問介護同様にケアマネジャーから「受け入れてもらえる事業所がないので」という依頼が目立ちました。

【評価】

- ・今後、採算面などから他事業所の撤退や受け入れ制限が予想される中、要支援の方の居場所が減ることにならないか懸念されます。

【取り組み】

- ・要介護状態にならないための、介護予防に視点をおいたプログラムを用意し地域の集いの場へ出向きました。

【評価】

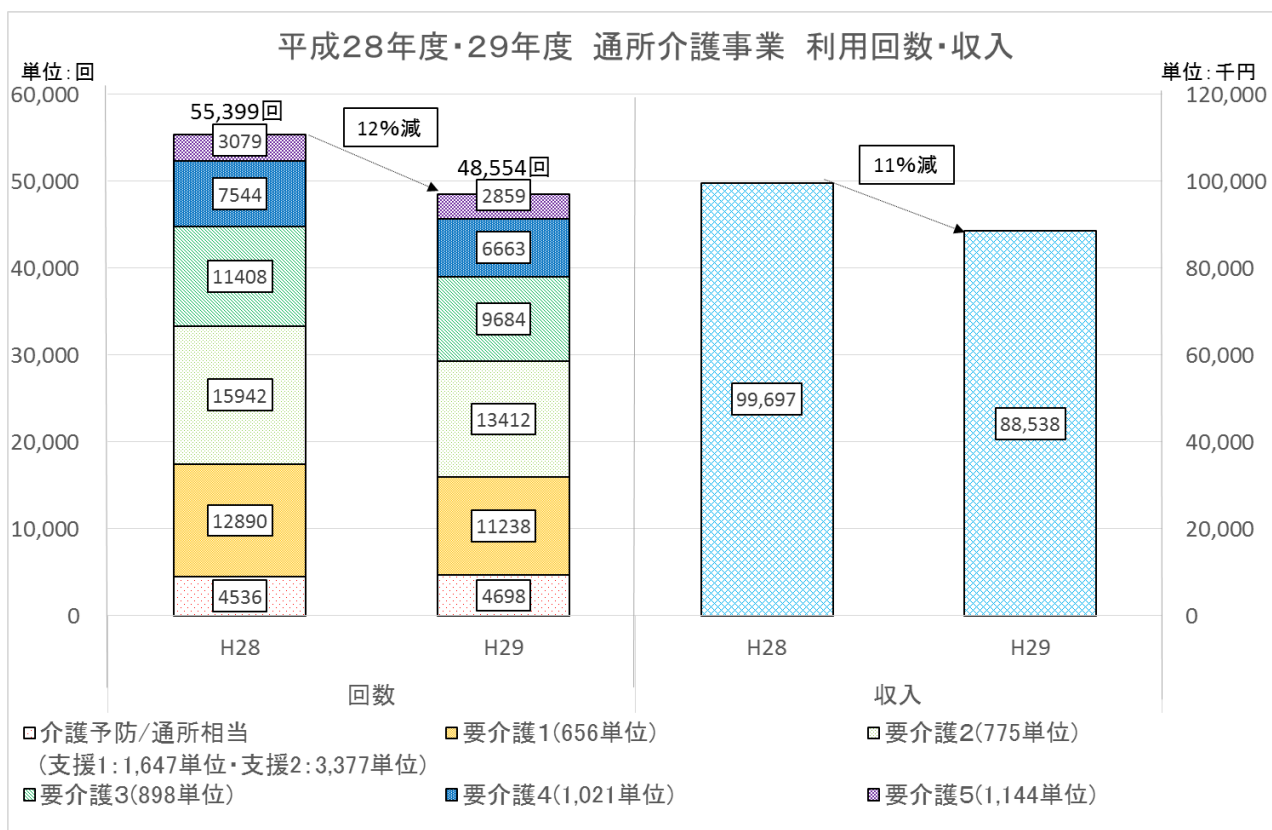
- ・介護予防の視点で地域の集いに出向いたことは、今後、受け入れ先の少ない要支援など介護予防レベルの方の居場所づくりや、住み慣れた地域で暮らし続けるために介護予防が大切であると伝えられたと思います。

◎地域に出向く介護予防プログラムの一例

《近所でみんなと介護予防》

- ・第1回「健康長寿の秘訣って、なんだろう？ 調べてみよう！ “私の体力”」
参加者：31名（64～96歳）
- ・第2回「転ばぬ先の体操 行きたいところへ行ける身体づくり」
参加者：20名（60～86歳）
- ・第3回「認知症予防！脳トレーニング！」
参加者：26名（61～88歳）
- ・第4回「口腔機能（ケア）について」
参加者：19名（64～87歳）
- ・第5回「転倒予防、足の筋力について」
参加者：23名（60～86歳）
- ・第6回「健康長寿の3大要素」について」
参加者：27名（60～86歳）





要介護の方の回数が減っていることと介護報酬の低い介護予防の方の回数は増えていることが収入減の一因になっています。

⑤認知症対応型通所介護（介護予防）事業 「ちやがゆの郷」

【取り組み】

- ・利用者の少なさが課題でしたが、利用者をつないでいただくケアマネジャーに「ちやがゆの郷」の特徴を伝えました。

【評価】

- ・これまでは、能登川地域の利用者のみでしたが、五箇荘地域からも利用がありました。

【取り組み】

- ・運営推進会議を10月・3月に行いました。

【評価】

- ・運営推進会議では、地元の方から「(認知症など) 気になる方がおられたら相談にきます」「事業にもっと協力したい」「ちやがゆの郷について気づいたことがあれば言うわ」との声をいただくなど地元の方のお力を借りながら事業運営を行うことができました。

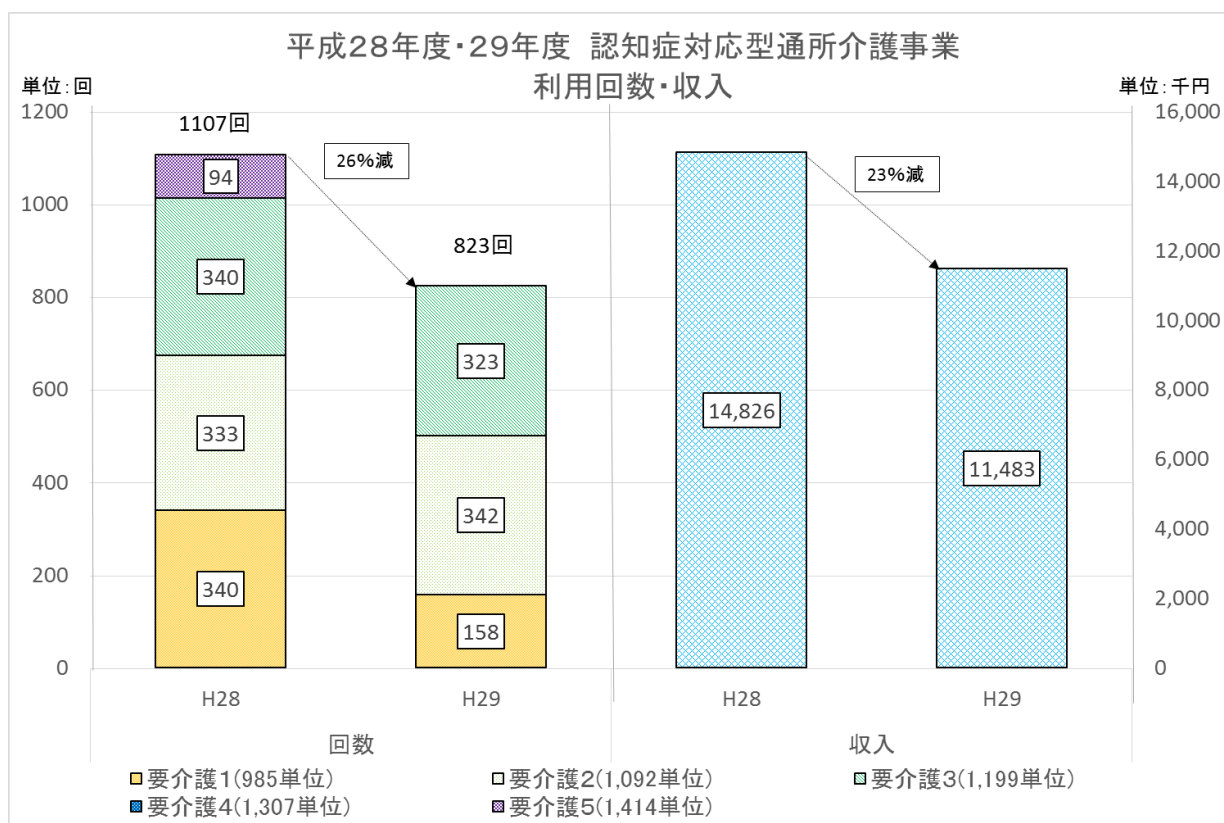
【取り組み】

- ・地域密着型サービスとして、12月に地元乙女浜町子ども会と合同で「茶がゆの会」を開催しました。利用者と子どもたち、その保護者、地域の方に多数ご参加いただき、交流の輪が広がりました。



【評価】

- ・ 地元の子ども会と「茶がゆの会」を開催したことは、子どもだけでなく、その保護者の世代にもちがゆの郷を知っていただくことができました。また、大勢の子どもたちに囲まれた利用者は、にこやかに茶粥作りを一緒に楽しまれていました。今後もこのような機会を通して、地元の方に気軽に立ち寄ってもらえる関係を築いていきたいと考えています。



新規利用者はおられたのですがすぐに入院されたことで全体の利用回数増につながりませんでした。

⑥小規模多機能型居宅介護（介護予防）事業 「かじやの里の新兵衛さん」

【取り組み】

- ・ 市担当課や関連機関へ働きかけたことで、新規利用者は増えました。しかし、認知症対応の小規模多機能型居宅介護では想定していなかった要支援の方が増えてきています。事業所の存在意義に照らし、利用者にとって意味のある受け入れを考えてきました。

【評価】

- ・ 要支援の方の利用について、要介護度や小規模多機能型施設の利用が適切かなど利用者の適切なアセスメント結果を元に、市担当課への提案を始めました。

【取り組み】

- ・ 運営推進会議を4月・6月・10月・12月・2月に行いました。

【評価】

- ・運営推進会議は、これまで隣接するかじや館（NPO運営）で開催していましたが、運営推進委員から「かじやの中のことがわからない」「かじやの中がわからない人が評価してよいのか」とのご意見をいただきました。今後は、事業所内で行うこととしました。

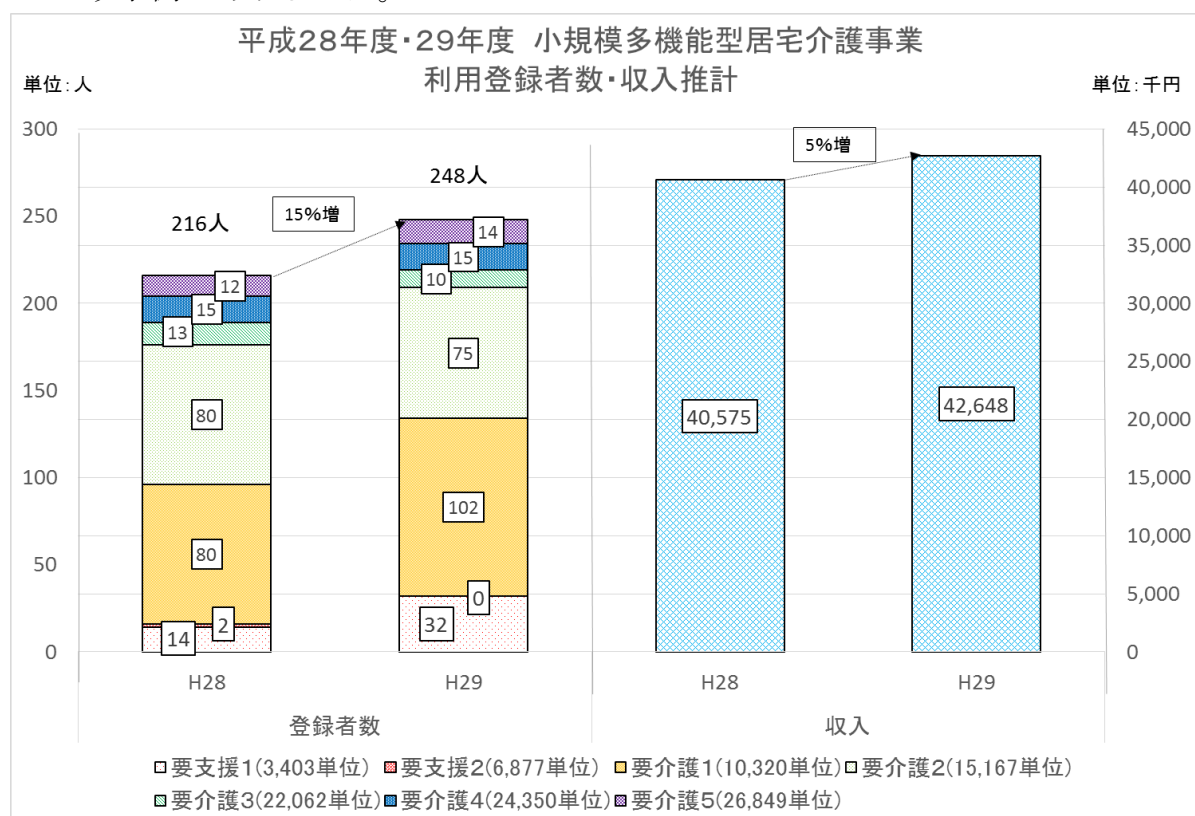
運営推進委員から地元につないでいただいたことで、夏まつりなどの行事を地元自治会と一緒に取り組むことが出来ました。

【取り組み】

- ・認知症高齢者見守りネットワーク事業の一環として、毎月カフェを開催し、11回述べ383人の方に来場いただきました。

【評価】

- ・毎月、カフェに来られていた方が認知症を発症され、他所のデイサービスの導入の検討をされましたが、ご本人が拒まれました。しかし、馴染みのあるスタッフがいるかじやの里の新兵衛さんなら行くとのことで利用につながるという事例がありました。



登録者数は増えていますが要支援、要介護1の方が増えているため収入が伸びませんでした。

(2) 障がい（児）者福祉サービス事業

障害者差別解消法が施行されましたが、その認識は十分とは言えず、今後も事業運営の中で障がいのあるなしに関わらず、お互いに人格と個性を尊重し合いながら共生できる社会づくりを目指したサービス提供に努めます。

①障がい者相談支援事業（指定特定相談支援事業・相談支援事業）

・指定特定相談支援事業

障がいのある人やその家族からの相談に応じ、自立した生活ができるようサービス計画の作成や、福祉サービスを利用するための情報提供や相談、専門機関の紹介や調整等を行いました。

	平成 28 年度	平成 29 年度	前年度比
(年度末)契約者数	183	202	19
計画作成数	153	191	38
モニタリング数	157	186	29

・相談支援事業(委託)

社協の相談窓口によせられる相談では、困りごとの背景に、本人や家族が障がいをお持ちであることに気づいておられないことがあります。相談窓口と連携し、相談者が抱える潜在的な課題に支援がしました。

	平成 28 年度	平成 29 年度	前年度比
相談件数	1, 287	2, 713	1, 426

②居宅介護（障がいホームヘルパー）事業の実施

【取り組み】

- ・障がいのある子どもを介護しておられた親が、高齢や体調不良、身体の不自由さで、家族介護ができなくなったことから、ヘルパーの訪問数や時間数が増えるというケースが多くありました。

【評価】

- ・高齢の親など家族介護が困難になったケースへは、子どもへの支援が増えただけでなく介護保険も一体的に行っている事務所として親への支援も併せて入ることができました。

【取り組み】

- ・障がいによる暮らしづらさがあっても「地域で住み続けたい」という本人の願いをかなえるため、社協の相談支援課との事例検討から、他の専門機関や地域の方の大掃除や見守り、声かけなどの協力を得て、地域で暮らすための支援をすることができました。

【評価】

- ・今後も地域生活を継続するためには、個別の問題をヘルパーだけで抱え込まず、地域福祉課、相談支援課との部門間連携で、社協の総合力を活かした支援につなげていきます。

(3) 在宅関連受託事業(市からの委託事業)

①高齢者福祉関連

事業名	委託元	実施事業所等	契約者数 (人)	延利用日数 (日)
高齢者虐待対応短期宿泊事業	東近江市	ゆうあいの家	実績なし	実績なし
生活管理指導短期宿泊事業		ゆうあいの家	実績なし	実績なし
住居提供事業(1月～3月)		ゆうあいの家	4	339
認知症高齢者 見守りネットワーク事業		認知症対応通所介護ちやがゆの郷 小規模多機能型居宅介護かじやの里の新兵衛さん		

【取り組み】

- ・高齢者虐待対応短期宿泊事業・生活管理指導短期宿泊事業は実績がありませんでした。(委託料も実績払いのためなし)
- ・冬季の間、一人暮らしなど生活に不安な方のための住居提供事業について、民生委員、ケアマネジャーを通じた周知により、前年度に比べ利用者増となりました。

【評価】

- ・利用された方や家族から「冬季の間、母が一人で家にいてもらうのは心配だった」「雪の降る晩は一人では心細かったが、ここは安心」との声をいただき住居提供の役割が果たせました。

【取り組み】

- ・認知症高齢者見守りネットワーク事業について、夏祭り・カフェ・認知症学習会・認知症見守り声かけ訓練等行いました。

【評価】

- ・認知症高齢者見守りネットワーク事業の「能登川地区における認知症見守り声かけ訓練」については10年目を迎え、地域の方の声を聞き、本来の目的に対しての評価をし、今後の方法について検討を始めました。

②障がい児(者)福祉関連

◎外出支援事業

事業名	事業所	延契約者数 (人)	延利用者数(人)
移動介護サービス	ヘルパーステーション なごみ	20	91
ガイドヘルプサービス	全ヘルパーステーション (4か所)	89	216

【取り組み】

- ・余暇活動への同行やバス停までの通学支援を行いました。

【評価】

- ・安心して外出することができると喜んでいただいておりますが、依頼が不定期的であることや一回の支援が長時間（2時間～6時間）になることが多く、ヘルパー派遣のシフトが組みづらいことが課題です。

◎地域活動支援センターⅡ型事業（障がい者デイサービス事業）

事業所	延実人数(人)	延利用回数(回)
障害者デイサービスセンター ハートピア	268	1061
能登川障害福祉センター 水車野園	373	1344
合 計	641	2405

【取り組み】

- ・作業所に就労している方の「（作業所が休みの日の）余暇活動の場がほしい」との声から、ハートピアでは「陶芸」、水車野園では「スポーツ吹き矢の講座」の開催を土曜日に始めました。

【評価】

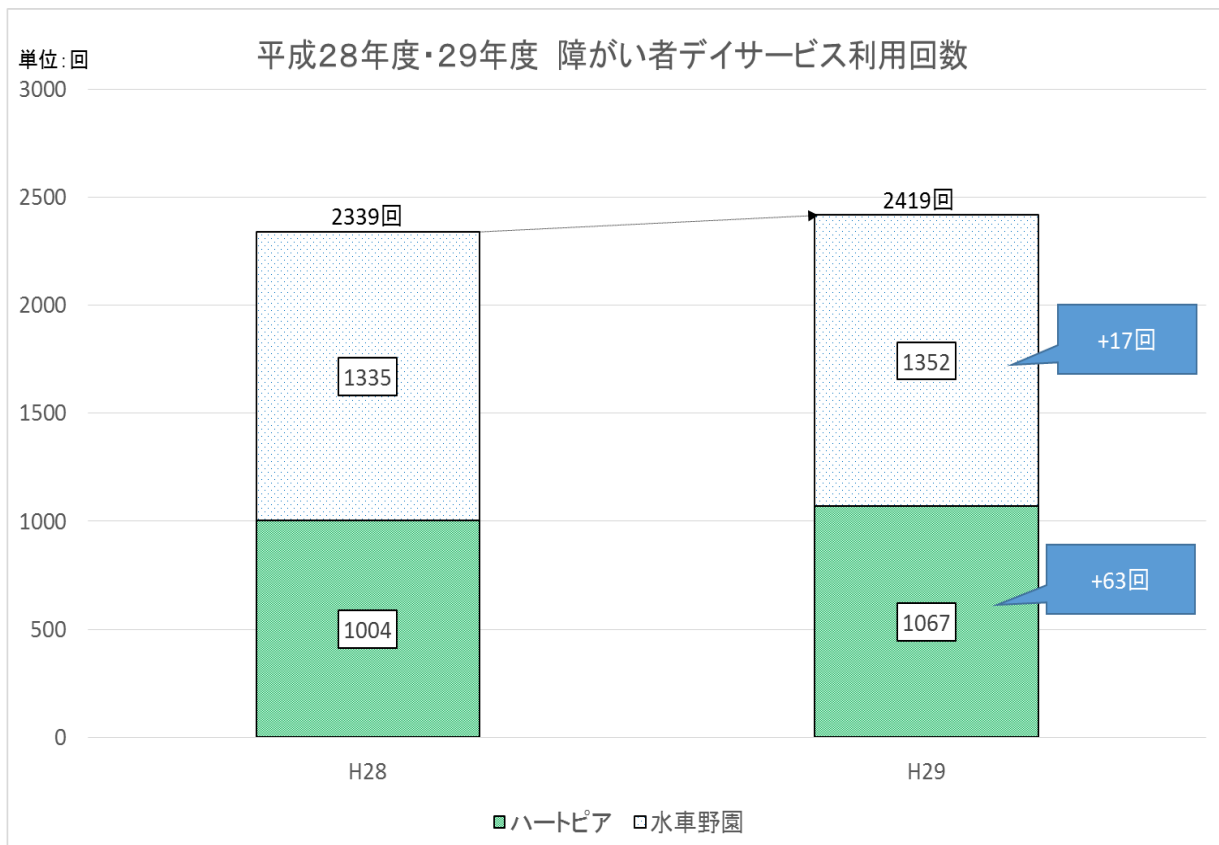
- ・講座の開催日を土曜日に変更したことにより、20代・30代の利用者が増えましたが、全体的に高齢化がみられます。加齢による心身機能等の低下もあり、身体障害者デイサービスだけでなく、介護保険サービスの紹介や障がい福祉と介護保険との併用利用が必要になってくることが考えられ、今後はそうした方への相談や支援内容の検討が必要と考えます。

【取り組み】

- ・利用者の様子や事業の内容について、相談支援事業所に出向き情報交換を行いました。

【評価】

- ・相談支援事業所との情報交換をきっかけに、在宅で過ごされている方の外出を目的とした利用につながった事例もありました。



水車野園、ハートピアとも土曜日開催をしたことが、利用者増につながりました。

(4) 在宅関連自主事業

◎在宅生活継続支援訪問介護サービス（おたすけサービス）

事業名	実人数(人)	延利用回数(回)
全ヘルパーステーション (4ヶ所)	16	37

【取り組み】

- ・要支援の方が転倒され、傷の手当てのために通院介助の緊急対応をしました。
また、家族が体調を崩されたため一時的な支援に対応しました。

【評価】

- ・早急に対応できたことは、けがなどの症状の早期回復につながりました。

目標③ 一人ひとりの良さに気づくことから始める人づくり ～高めあい 育ちあい 和気あいあい～

1. 地域住民や市内の地域福祉活動を担う方々が集い、共に学び高め合う場づくり<総務課>

地域の福祉活動、市民活動、ボランティア活動などに携わる人が集い、より一層地域福祉の機運を高め、「共に安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現を目指し、東近江市社会福祉大会を実施しました。

◎被表彰者選考委員会 9月5日(火)

◎東近江市社会福祉大会の開催

日 時：平成29年11月9日(木) 14:00～

場 所：東近江市五個荘コミュニティセンター

参加者：約400名

〈式典〉

- | | |
|-----------------|--------------|
| ・東近江市共同募金委員会長感謝 | 30件(1名・29団体) |
| ・東近江市社協会長表彰 | 47件(41名・6団体) |
| ・東近江市社協会長感謝 | 25件(7名・18団体) |



社会福祉大会の様子

〈募金百貨店プロジェクト合同調印式〉

募金百貨店プロジェクト調印企業

一般社団法人がもう夢工房

サヤームエラワン

有限会社 T&S

七福堂製菓

井上製菓株式会社



合同調印式の様子

〈記念講演〉

「今、改めて考える東近江のまちづくり～魅力・強み・好き・得意を活かして～」

講師：関西学院大学 人間福祉学部 非常勤講師 岩本裕子氏

2. 福祉共育の推進〈地域福祉課〉

地域のよいところを発見したり課題について考えるなど、福祉や地域づくりについて学ぶ機会をつくり、子どもから大人まで地域に暮らす住民同士が共に育ち合う福祉共育をすすめました。

◎福祉共育

学 校：55校

その他：2か所（東近江市役所（蒲生支所）人権研修：車いす・シニア体験、
蒲生地区防災キャンプ：車いす体験）

回 数 延：122回 （平成28年度：127回）

参加者延：4,119人 （平成28年度：4,232人）

相談・問い合わせ・コーディネート：176件 （平成28年度：235件）



能登川南小学校
車いす体験



東近江市役所（蒲生支所）
シニア体験



玉緒小学校
アイマスク体験

3. 新しい地域支援事業 第2層コーディネーターの養成＜地域福祉課＞【新規】

新しい地域支援事業における第2層（市内14地区を想定）コーディネーターの設置に向けて、コーディネーターの養成を行いました。

- ・地域支え合い推進員（第2層コーディネーター）研修の開催（参加者：50名）
日 時：平成30年2月13日（火） 13：30～15：30
場 所：蒲生コミュニティセンター 小ホール
内 容：『地域のお宝探しの意義とその視点を学ぶ』
講 師：仙台白百合女子大学 准教授 志水 田鶴子 氏
参加者：第2層協議体メンバー、地域支え合い推進員として想定している方など



4. 住民懇談会の開催＜地域福祉課＞

自治会や地区など、自分の暮らす地域について語り合い、これからの地域づくりをカタチにしていくための場をつくりました。

◎14地区：13回 延べ 1,087人

地区	事業・内容	対象	人数
市辺	認知症研修会	地域住民	40人
玉緒	福祉活動交流会	自治会長福祉委員、民生委員・児童委員、地区社協、推進会議、サロン代表	50人
永源寺	交流会「輪つなぎ」	地区住民、医療福祉専門職	62人
五個荘	自治会福祉推進連絡会	自治会長、福祉委員、民生委員・児童委員	87人
	地域福祉活動研修会	自治会長、福祉委員、民生委員・児童委員、地区社協理事	91人
	サロン交流会	サロンスタッフ、地区社協理事、施設職員	70人
	支え合いマップでつながりづくり	自治会長、福祉推進委員、民生委員・児童委員	87人
愛東	福祉員会交流会（全2回）	自治会長、福祉委員、民生委員・児童委員、地区社協、福祉プロジェクト	24人
湖東	福祉懇談会	自治会長、福祉推進委員、民生委員・児童委員	102人
	これからの支え合いを考える講座	自治会長、福祉推進委員、民生委員・児童委員、地区社協役員、サロンスタッフ、地区住民	24人
能登川	学区別福祉懇談会	自治会長、民生委員・児童委員、のとがわ福祉の会評議員	136人
	避難行動要支援者避難支援制度についての三者懇談会	自治会長、民生委員・児童委員ののとがわ福祉の会役員	166人
蒲生	福祉のまちづくり講座	福祉委員、蒲生あかね福祉の会役員	38人
	「地域支え合いのつどい」	地区住民、医療福祉専門職	100人

5. 中学生懇談会の開催＜地域福祉課＞

子どもたちがまちづくりについて話し合う場をつくり、近い将来を担う中学生らの意見を反映した地域福祉活動を展開し、大人になっても住み続けたいまちづくりにつなげました。

地区	事業・内容	対 象	人 数
平田 市辺	船岡中学校 中学生懇談会	船岡中学校生徒会、平田ふくしのまちプラン推進会議メンバー、市辺推進会議メンバー	28人
蒲生	朝桜中学校 中学生懇談会	朝桜中学校 生徒会 蒲生あかね福祉の会 役員	41人

6. 米寿記念写真展＜地域福祉課＞

長寿を祝い、年長者を敬う心を育むことを目的に、米寿を迎えられた人の写真を撮影、掲額しました。

◎撮影・掲額・贈呈

208名（平成28年度 247名）

平田／10名	市辺／9名	玉緒／10名	御園／11名
建部／8名	中野／12名	八日市／18名	南部／5名
永源寺／16名	五個荘／15名	愛東／14名	湖東／28名
能登川／33名	蒲生／19名		

目標④ みんなが輝く場や機会づくり ～『得意』『好き』を持ち寄って 東近江 115,000 笑ット～

1. ボランティア活動の支援＜地域福祉課＞

住民が気軽にボランティア活動へ参加できる取り組みを進めるとともに、その活動を支援しました。

- ・ボランティア活動への参加促進と活動支援
- ・ボランティアの活動調整と活動支援
- ・ボランティア情報の収集と発信
- ・ボランティアグループへの活動助成（赤い羽根共同募金）
- ・企業との連携社会貢献活動の推進
- ・ワークキャンプ活動支援（県内の大学と連携し、若者が地域活性化の取り組みや地域貢献できる機会）

区 分	登録 グループ数	登録人数	登録外把握 グループ数	登録外 把握人数
個人ボランティア		39 人		10 人
ボランティアグループ	97 グループ	1,293 人	20 グループ	150 人
合計	97 グループ	1,254 人	20 グループ	160 人

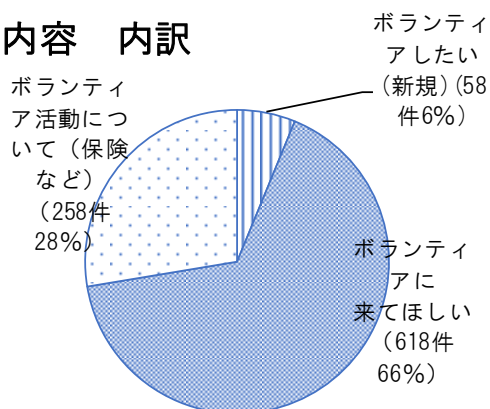
- ・ボランティア保険の加入

活動保険	269 件	3,632 名
	（内天災タイプ 14 件 658 名）	
行事用保険	99 件	7,829 名
- ・ボランティア 相談・問合せ 934 件（平成 28 年度 1,049 件）

○相談件数

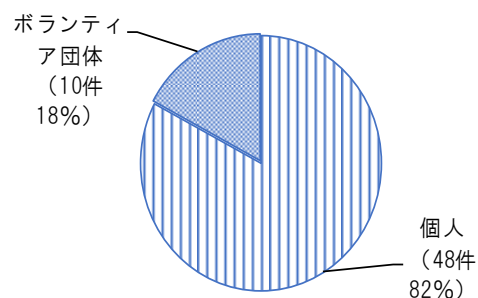
地区	件数	地区	件数
平田	13 件	永源寺	31 件
市辺	33 件	五個荘	84 件
玉緒	13 件	愛東	75 件
御園	32 件	湖東	75 件
建部	18 件	能登川	189 件
中野	79 件	蒲生	108 件
八日市	27 件	市	121 件
南部	36 件		
		合計	934 件

相談内容 内訳



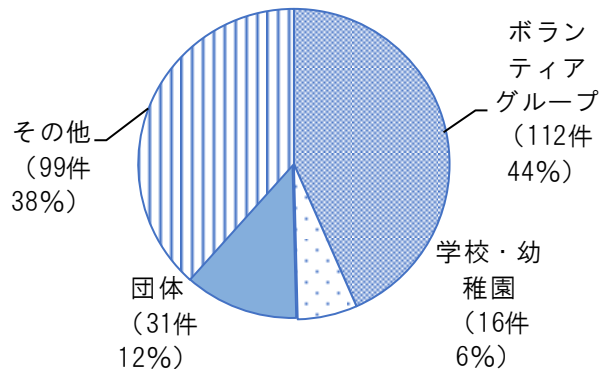
相談経路

～ボランティアしたい（新規）～

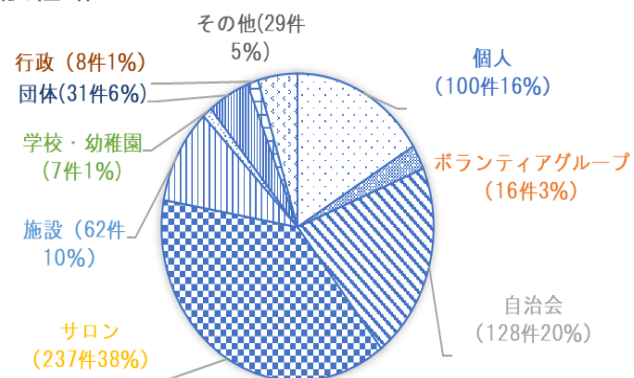


相談経路

～ボランティア活動について（保険など）～



相談経路～ボランティアに来てほしい～



○ボランティアグループへの活動助成（財源 共同募金）

ボランティア活動がより活発に展開されるよう助成事業を行いました。助成を行うことで、ボランティアグループの活動の充実を図ることができました。

・ボランティアグループ助成 37 グループ 723, 595 円

2. ボランティアセンター運営委員会の設置・運営＜地域福祉課＞【新規】

ボランティア活動の活性化やボランティアの裾野が広がるよう、地域住民や企業・団体・関係機関等とともに住民参画・協働により推進していく活動を支援しました。

◎東近江市のボランティア推進を考える会 3回

東近江市のボランティア活動の裾野が広がるよう、ボランティアや地域住民、企業、学校、関係団体等とともに情報交換・協議できる場として開催しました。

日 時	内 容	人数
平成 29 年 8 月 3 日（木） 13：30～15：30	・ 東近江市ボランティアセンターの概要について ・ これからのボランティアと東近江市におけるボランティアの推進 （京都光華女子大学 講師 南 多恵子 氏より） ・ グループ懇談「ボランティアの裾野を広げるために」	19 人
平成 29 年 11 月 13 日（月） 13：30～15：30	・ 地区ボランティアセンターの活動紹介 事例発表：中野地区ボランティアセンターの取組み紹介 ・ グループ懇談「活動の拠点を考える」	16 人
平成 30 年 2 月 16 日（金） 13：30～15：30	・ グループ懇談 「“ボランティア＝福祉” のイメージを変えていくには」 ・ 考える会に参加して（ふりかえり）	15 人

◎中野地区ボランティアセンターを考える会 12回（月1回開催）



3. 子どもへの学習支援＜地域福祉課＞

貧困の連鎖を断ち切るため、生活困窮世帯の子どもたち（主に中学生）の居場所づくりと学習面のサポートを行いました。

子どもたちにとって年齢の近い大学生をボランティアスタッフとして、市内3会場で実施しました。冬休みには、「勉強したい」という子どもたちの声から特別講座を設けました。

学習するだけでなく、季節の行事を取入れ、自分たちの「やりたいこと」を仲間や周りの大人と一緒に実施することを通して、仲間と協力して実施する楽しさを知り、人とのやり取りを学び、生活習慣や社会性を身に付ける機会を設けました。

また、参加する子どもだけでなくその世帯全体を支えるという視点を持ち、行政や学校などその世帯に関わる関係機関と連携しながら支援しました。

- ・関係機関との検討会議 4回（4/28、7/21、12/15、3/29）
- ・ボランティアスタッフミーティング 3回（5/10、7/24、12/4）
- ・支援調整会議
（新規参加者の受け入れ検討会議） 15回
- ・ケース検討会議への出席 4回
- ・参加児童への訪問 5回（計8回）

◎会場参加状況（ ）内、平成28年度

会場	対象中学生高校生		学生ボランティア		開催回数
	登録数	延べ人数	登録数	延べ人数	
八日市	22(14) 人	465(265) 人	13(9) 人	174(152) 人	49(49) 回
五個荘	3(7) 人	53(58) 人	4(4) 人	25(142) 人	49(49) 回
南部	10(6) 人	207(73) 人	7(6) 人	75(140) 人	46(46) 回
冬休み 特別講座		45(29) 人		17(22) 人	8(8) 回

◎会場合同行事

内 容	日 程	中高生	学生ボランティア
バーベキュー	平成30年9月2日(土)	7人	6人

4. 障がい児サマーホリデー事業の実施＜地域福祉課＞

夏休み期間中、障がいを持つ子どもたちが集い、遊びを通じた地域の人とのふれ合いの場を保護者・ボランティア・行政と協働して実施しました。

◎6会場 各17日（延実施日数 102日）

会 場	参加児童		ボランティア
	登録	のべ参加	のべ参加
八日市	33 人	248 人	354 人
永源寺	3 人	26 人	42 人
五個荘	21 人	147 人	179 人
愛東・湖東	7 人	86 人	155 人
能登川	8 人	67 人	125 人
蒲生	13 人	93 人	172 人
計	85 人	667 人	1027 人

参加登録児童	85名（平成28年度	104名）
参加者延	667名（平成28年度	825名）
ボランティア延	1,027名（平成28年度	1,194名）

サマーの会打合せ会議	4回
指導員リーダー会議打合せ会議	7回
指導員研修会	2回
指導員・サマーの会合同会議	1回



八日市会場
リトミック



合同閉所式



指導員会議

5. 当事者がお互いにつながる場づくりの支援＜地域福祉課＞

- ・八日市スプリングホリデー支援 全5日
（調理・演芸ボランティア調整・受付、事業運営・相談支援）

6. シニア世代の仲間づくり講座の開催＜地域福祉課＞

シニア世代へ仲間づくりのきっかけとなる場を提供し、地域の活動等に関心を持てる機会をつくりました。

全5回 参加者：11名（延：50名）
（平成28年度 参加者：20名（延：86名）

回数	日時	内容	人数
1	2月14日（水）	・自己紹介 ・ニュースポーツ	11人
2	2月21日（水）	・うどん打ち	9人
3	2月28日（水）	・ボランティア活動紹介	10人
4	3月7日（水）	・先輩シニアの活動紹介 ・美味しいコーヒーを淹れてみましょう	11人
5	3月14日（水）	・今後の活動について	9人

※2回目のみ蒲生コミセン。他、ハートピアで実施。



7. おもちゃ図書館の開催＜福祉センター＞

子育て中の親子がおもちゃ遊びを通じて気軽に集い、子ども同士の交流と情報交換を通したつながりづくりの場の提供と子育て支援を行いました。

	開催回数・件数	参加者延人数
おもちゃ図書館	66 回 (66 回)	854 名 (843 名)
各地域へのおもちゃ貸出	27 回 (8 回)	
おもちゃの貸出	131 件 (202 件)	

() 内 28 年度

8. 児童センターの運営＜福祉センター＞

乳幼児の親子から小中高校生まで、幅広い年齢の子どもたちに遊び場を提供し、遊びの指導を行い、仲間づくりや健やかに育ちあう安心安全な居場所づくりを行いました。親子サロンの開催で子育てを支援し各種相談にも応じました。

		開催回数・件数	参加者延人数
遊びを通した日常的なかかわりの中での児童や保護者からの相談		89 件 (87 件)	
自由来館（遊びの提供、遊びの指導）			11,070 名 (12,439 名)
親子サロン	まめっこサロン ①②	32 回 (32 回)	1,593 名 (1,628 名)
	ぽかぽかサロン ①②	32 回 (32 回)	1,879 名 (1,677 名)
夏休みクラブ活動	おりがみ教室	2 回 (2 回)	129 名 (146 名)
	手作り教室	1 回 (1 回)	21 名 (13 名)
	サイエンスクラブ	2 回 (2 回)	63 名 (62 名)
サイエンス★クラブ		10 回 (10 回)	161 名 (150 名)
児童センターだより発行		1 回 (2 回)	

() 内 28 年度

9. 母子・父子福祉センターの運営＜福祉センター＞

ひとり親家庭、寡婦の方の各種の相談に応じるとともに、自立と生活の安定、向上を図るため、様々な講座を開催し、交流の場を提供しました。

- 母子・父子および寡婦の家庭生活の自立と生活の安定を図る各種事業
- 母子福祉推進委員会、母子福祉のぞみ会の会議参加、事業協力
- 教室、イベント等の開催

	開催回数・件数		参加者延人数	
親子バス旅行	1 回（1 回）		34 名（41 名）	
手芸教室	5 回（5 回）		50 名（44 名）	
親子交流会	3 回（3 回）	親子で茶道	14 名	計 41 名 （40 名）
		親子で芋掘り	16 名	
		親子で折り紙	11 名	
おしゃべり会	1 回（1 回）		5 名（6 名）	
サークル活動の場所提供 （生け花サークル）	12 回（12 回）		120 名（120 名）	
教室、講座等のかかわりの 中での相談	101 件			

（ ）内 28 年度

10. 老人福祉センターの運営＜福祉センター＞

高齢者の健康増進や教養の向上、生きがいつくりの場を提供するため、講座を開催し、高齢者の集いの場、居場所づくりをし、困りごとや各種の相談にも応じました。

	開催回数	参加者延人数
自由来館（囲碁）	47 回（47 回）	327 名（374 名）
サークル活動の場所提供	81 回（70 回）	1,444 名（1,247 名）
ヨガ教室	2 回（1 回）	15 名（7 名）
陶芸教室	3 回（3 回）	34 名（20 名）
寄せ植え教室	2 回（2 回）	29 名（37 名）
手芸教室	2 回（1 回）	17 名（19 名）

（ ）内 28 年度



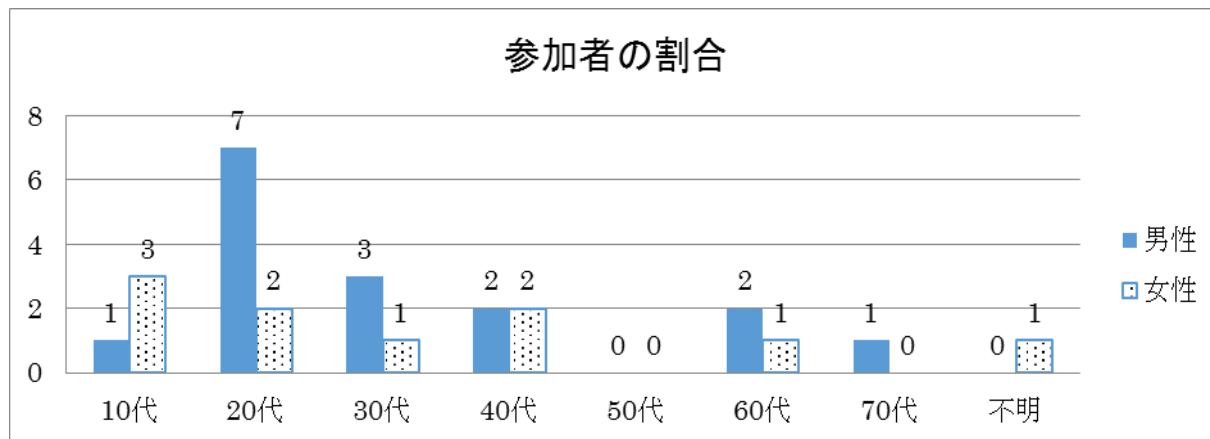
児童センター
親子サロン



老人福祉センター
ヨガ教室

11. S&S(スマイル アンド スタンド)＜相談支援課＞

さまざまな理由で就労や生活のしづらさを抱えておられる方や社会に出るきっかけをさがしておられる方に、居場所や社会参加の場を提供しました。住民や企業と連携し、多様なプログラムを準備し、活動に参加することを通して、参加者が自信をもち、自分に合った働き方がみつけれられるように支援しました。



活動内容 38 回、参加述べ人数 148 名

畑作業	6 回	公共施設の障子の張替	1 回
D & C(discover & clean)	3 回	聖徳まつりの提灯つり	1 回
ダイレクトメールの封入	11 回	もろて～な市の準備・出店	2 回
宛名シール貼り	1 回	二五八祭のエコステーション	1 ブース
共同募金の資材	2 回	社会福祉大会の資材分け	1 回
見守りフォーラムの資材分け	3 回	Food Day25 の準備・運営	5 回
1 年間のふりかえり	1 回		

継続プログラム 参加者 5 名、参加日数 107 日

目標⑤ 東近江の魅力を再発見と誇りづくり ～やっぱりええやん 東近江～

1. 広報誌『ひがしおうみ社協だより』の発行・ホームページの運営

『場所や活動』、『風土や人』など、地域の福祉力や助け合いにつながる東近江のさまざまな魅力や情報を掲載し、ホームページでは常に新しい情報を発信していきましました。

地域の人や活動等、身近な記事を掲載した広報誌の発行を行いました。また、タイムリーな情報を常に発信できるホームページの作成に取り組みました。

広報誌名	発行回数／部数／配布方法		
「ひがしおうみ社協だより」	6 回	38,000 部	新聞折込、窓口設置、個別郵便

2. SNS を活用した情報収集・発信【新規】

Facebook を立ち上げ、社協と市民、さまざまな団体や企業、幅広い年代層がそれぞれつながり、東近江の魅力や旬な話題を発信・共有する機会をつくりました。

3. 地域のお宝の発見・発信＜地域福祉課＞【新規】

気軽に集まれるゆるい場(居場所)が人づくりや見守りにつながっていることに目を向け、趣味の活動や仲間同士の集まりなど、「地域のお宝」を発見し発信しました。さらに、そういった場が広がるよう「好きよりの場に光を！運動」としてPRしました。また、シニア世代・若者・子育て中の方など、さまざまな立場の人の活躍を発信し、さらに推進します。

◎「集いいね」の募集、掲額、表彰 30 団体

◎「集いいね」の冊子作成

目標⑥ 地域活動を支えるためのサポート

～とことん14地区にこだわり、地域づくりをすすめます！～

1. 地区の地域分析＜地域福祉課＞

地域の特性に応じた地域活動を支援するために、地区担当ワーカーが各地区の課題や資源、住民の思いやニーズを把握するなど、地域の特性を分析し、地区に応じたふくしのまちづくりをすすめました。

2. 地区社会福祉協議会の活動支援と連携＜地域福祉課＞

地区の福祉向上を目的に設けられている地区社会福祉協議会の活動を支援します。また、地区社会福祉協議会と連携協働し、住民により福祉活動が進展するよう、地区担当ワーカーが出向き、体制づくりや話し合いの場づくりをすすめました。

◎地区社協と連携と活動支援

地区名	事業・活動名	ワーカーの関り・内容
平田	事業： 地区社協助成金事業、見守り支援事業	助成金相談対応 事業、運営相談対応
	その他：敬老会	ボランティア調整
市辺	事業：地区社協助成金事業	地区社協助成金相談対応
玉緒	会議：役員会	事業、運営相談対応
	事業：地区社協助成金事業	助成金相談対応
	その他： 玉緒地区文化祭、歳末たすけあい事業	当日参加協力

御園	会議：総会、理事会、事務局会議、みその井戸端喫茶検討会	事業、運営相談対応、資料準備
	研修：市内研修、給食ボランティア研修	研修先調整、対応、資料準備
	事業 地区社協助成金事業、見守り支援事業、座談会「よりあい」、みその井戸端喫茶	助成金・事業・運営相談対応
建部	事業 サロン交流会、建部あったかネット世話人会	事業・運営相談対応
中野	会議：常任理事会、理事会、総会、あり方検討委員会、懇談会	事業・運営相談対応、案内資料準備
	事業：見守り支援事業、地区社協助成金事業 広報「かけはし」発行	助成金・事業・運営相談対応、案内資料準備
八日市	会議：常任理事会、四役会、総会、広報委員会	事業・運営相談対応
	事業：見守り支援事業、地区社協助成金事業	助成金・事業・運営相談対応
	その他：ひとり暮らし高齢者のつどい	プログラム相談対応、ボランティア保険加入手続き、開催支援、当日参加協力
南部	会議：総会、常任理事会	事業・運営相談対応、資料準備
	事業：地区社協助成金事業、こどもの広場	助成金・事業・運営相談対応
	研修：役員研修	視察先調整、対応
	その他：障がい者福祉を高めるつどい	事業・運営相談対応、当日参加協力
永源寺	会議：総会、常任理事会、理事会、三役・事務局会議、各部会（事業企画、見守り、広報編集）	資料準備、広報校正、事業・運営相談対応
	その他：親子で地域を知ろう、みんなのふる里祭り、親子で料理教室、歳末おせち・ゆうあい訪問、サロン交流会	資料準備、事業・運営相談対応、当日参加協力
	事業：えんがわ喫茶、地区社協助成金事業、広報発行	視察受け入れ対応、助成金・事業・運営相談対応、広報校正
五個荘	会議：役員・事務局会議、部会（総務、事業） てんびんの里「わくわく広場」運営委員会	事業・運営相談対応、資料準備
	事業：地区社協助成事業	助成金相談対応
	研修・講演会事業つながりづくり講演会、交流研修、地域福祉活動研修会、サロン交流会	講演会開催案内、講師打合せ・調整、資料準備
	その他：てんびんの里わくわく広場、福祉人権のつどい	事業相談対応、当日参加協力
愛東	会議：理事会、三役会、総会、組織体制検討会議、部会（地域福祉、広報）	事前打ち合せ、事業・運営相談対応、資料準備
	事業：地区社協助成金事業	地区社協助成金相談対応
	その他：あいとう夏まつり、秋祭りバザー出店、しあわせホームボランティア交流会	事業相談対応、当日参加協力

湖東	会議：理事会、三役会、総会	事業・運営相談対応、資料準備
	その他： 湖東ふるさと祭、歳末おせち配食サービス	事業・運営相談対応、当日参加協力
	事業：季節のお届け配食事業、広報発行	
能登川	会議：理事会、評議員会、各部会（総務会計、広報、研修、事業企画）	事業相談対応
	事業 地区社協助成金事業、料理講座、子ども芸術展での啓発活動、歳末おせち料理配食事業、広報発行	事業・運営相談対応、当日参加協力、広報情報提供
	研修：役員研修	視察先調整、対応
蒲生	会議：本部役員会、役員会、総会、投げどころ創造事業打合せ	日程調整、事業相談対応
	事業：地区住民福祉計画推進、広報発行	事業・運営相談対応、広報情報提供
	その他： 中学生懇談会、福祉のまちづくり講座、あかねふれ愛のつどい、福祉と健康のつどい、歳末お楽しみ会、身障厚生会との交流、中学生懇談会	事業・運営相談対応、当日参加協力

○地区社協の活動への助成

各地区の地域性に合わせた活動となるよう地区社協の活動を支援しました。

- ・地区社協への運営費・事務局設置費助成

会費による事務局助成	8 地区	1,741,288 円
会費による運営助成	14 地区	1,805,828 円
- ・地区社協への事業費助成

赤い羽根共同募金による助成	9 地区	637,200 円
歳末たすけあい募金による助成	8 地区	489,200 円
善意銀行による助成	12 地区	710,693 円
- ・助成金説明会

	1 回	参加者 17 名
--	-----	----------

3. 地区社会福祉協議会 情報交換会の開催＜地域福祉課＞

地区社会福祉協議会の発展や活性化のきっかけの場となるよう、同じ目的を持つ市内 14 地区の地区社会福祉協議会が、課題や取り組みを共有し、情報交換、交流する場を設けました。

- ◎ 14 地区社協連絡会 1 回 参加者延：47 名
 日 時：平成 29 年 8 月 29 日（火）18：00～20：30
 場 所：福祉センターハートピア
 内 容：話題提供「東近江市で目指す福祉のまちづくり」
 ①第 2 次東近江市地域福祉活動計画について
 ②支え合いの地域づくり（新しい地域支援事業）について
 グループ懇談「地区社協だからこそできる地域づくり」

4. 民生委員児童委員協議会との連携＜地域福祉課＞

住民に最も身近な支援者である民生委員・児童委員との連携により、困りごとを抱える方の発見や地域生活を支える支援、また地域ぐるみでの見守りや助け合いの活動などをすすめました。

地区名	事業・活動名	ワーカーの関り・内容
市域	事務局担当 民生員制度創設 100 周年記念式典 理事会・三役会 大垣市、武豊視察研修受入れ 会長・副会長研修 各部会：障がい児者、高齢、児童 委員会：総務、広報、主任児童委員	会議運営、事業・運営・研修先調整相談対応、 定例会資料準備、当日参加協力、 他事務局業務
平田	父子給食、県外研修	事業・運営相談対応、研修調整対応・同行
市辺	意見交換会、小学校懇談会	事業・運営相談対応
玉緒	研修会 にこにこ赤ちゃん訪問同窓会	事業・運営相談対応、 研修調整対応・同行
御園	みそのちびっこ	事業・運営相談対応、当日参加協力
建部	県内研修	研修先調整、同行
中野	ケアマネ研修会、県内研修 ママさんおしゃべり会、広報紙	事業・運営相談対応、 研修調整対応・同行、当日参加協力
八日市	視察研修	事業相談対応、研修調整対応・同行
南部	県外研修	研修先調整対応・同行、資料準備
永源寺	県外研修、幼保・小中学校訪問、 市内福祉施設見学、 ゆうあいの家奉仕作業	事業・運営相談対応、 研修調整対応・同行、当日参加協力
愛東	県内研修	研修先調整対応・同行、資料作成
湖東	市災害ボランティアセンター設置運営訓練 県外研修	事業・運営相談対応、 研修調整対応・同行、当日参加協力
愛東 湖東	愛東・湖東民協情報交換会	当日準備
能登川	県外研修	研修先調整、同行
蒲生	視察研修、歳末お楽しみ会、 ほっとタイム	研修先調整対応・同行、資料準備、 事業・運営相談対応、
各地区	定例会 特別会費、共同募金協力依頼 歳末激励金配布助成金事業協力 台風 21 号被害状況確認	会議準備・出席、相談対応（100 周年記念式 典関係相談、赤ちゃんにこにこ訪問事業な ど）、事前会議・代議員会、被害状況電話・ 現場確認

5. まちづくり協議会との連携＜地域福祉課＞

各地区で広くまちづくりに取り組まれているまちづくり協議会と連携し、地区社会福祉協議会をはじめとする地区内の関係団体とヨコのつながりをつくり、福祉のまちづくりをすすめました。

地区	事業・活動名	ワーカーの関り・内容
平田	まちづくり協議会	地区住民福祉活動計画との調整・打合せ
中野	おすそわけプロジェクト	相談対応、資料準備、当日参加協力
八日市	八日市つながりプロジェクト	事業・運営相談対応、助成金説明
永源寺	みんなのふるさと祭り	当日参加協力
五個荘	五個荘地区総合防災訓練	相談対応、訓練参加
	あんしんサポート委員会	相談対応、委員会出席、徘徊保護訓練調整・参加
愛東	福祉プロジェクト	会議出席、事業実施
湖東	まちづくり計画策定委員会	事業・運営相談対応
能登川	まちづくり協議会事業部会	部会への出席、相談対応
蒲生	蒲生まるごとおたすけ隊(人財バンク)打合せ	打合せ参加、事業・運営相談対応

6. 「地区住民福祉活動計画」の推進支援＜地域福祉課＞

地区担当ワーカーが市内14地区で地区住民福祉活動計画の推進のために設けられている、話し合いの場などへの参画を通し、計画が具体的な活動として取り組まれるよう支援しました。

地区名	事業・活動名	ワーカーの関り・内容
平田	平田ふくしのまちプラン	打ち合わせ、議題の検討、資料作成、事業・運営相談対応
	三役会、推進会議、実行委員会	
	カフェゆきのやま	
	平田地区文化祭	
市辺	住民福祉活動計画推進会議	事前打合せ、事業・運営相談対応、資料準備
玉緒	住民福祉活動計画推進会議	事前打合せ、事業・運営相談対応、資料準備、情報提供（新しい地域支援事業について）
御園	御園地区住民福祉推進会議	事業・運営相談対応、資料準備
建部	たてべの福祉を語る場	資料準備

中野	なかのよいまち推進会議	資料準備、共助の基盤づくり事業調整
	おすそわけプロジェクト もろて一な市	資料準備、事業実施日調整
八日市	八日市つながりプロジェクト	事業・運営相談対応、カフェ参加協力
	カフェはちのひ	
南部	南部地区ワーキング会議	資料準備、カフェ参加協力
	ほっとまちカフェ	
永源寺	住めば都プラン推進会議	事前打合せ、事業・運営相談対応、資料準備
	婚活プロジェクト	
五個荘	第2次五個荘地区住民福祉活動 計画推進会議	資料準備、事業・運営相談対応
愛東	福祉プロジェクト	資料準備、事業・運営相談対応
湖東	湖東プラン推進会議	資料準備、事業・運営相談対応
能登川	能登川地区住民福祉活動計画推 進会議	資料準備、事業・運営相談対応
蒲生	あかね福祉の会支部役員会	回覧版作成支援



【平田地区】カフェゆきのやま



【中野地区】もろて一な市

7. 「地区住民福祉活動計画」情報交換会の開催＜地域福祉課＞

市内14地区の地区住民福祉活動計画が推進されるよう、各地区で計画をすすめている情報交換を行う場をつくりました。

◎住民福祉活動計画フォーラム 1回 70人

日時：平成29年12月17日（日）13：30～15：30

場所：てんびんの里文化学習センター

内容：① 第2次東近江市地域福祉活動計画について

② 14地区住民福祉活動計画1分間リレートーク

③ パネルディスカッション

コーディネーター：佛教大学 福祉開発センター

講師 金田 喜弘 氏



8. 専門職同士の連携強化＜地域福祉課＞

専門職同士がお互いの専門職を活かし、制度やサービスのはざまにある暮らしの困りごとや地域に必要な社会資源などについて、話し合いの場に参画・連携の強化を行いました。

地区名	事業・活動名	ワーカーの関り・内容
永源寺	チーム永源寺	会議出席
五個荘	てんびん倶楽部	事業・運営相談対応、会議出席、日程調整
愛東	愛東三方よし	懇談会出席
八日市 8地区	ミニ三方よし	会議出席、事業・運営相談対応

基盤強化計画

1. 民間法人として、独自性に採算性を兼ね併せた法人経営を目指します ＜総務課＞

(1) 経営組織のガバナンスを強化し、「運営」から「経営」へ役職員が一体となって転換を図りました。特に大規模な財政改革を行ないました。

また、社会福祉法改正により、評議員・理事・監事の役割や権限、責任の範囲が明確になりました。これを踏まえ、役員や評議員数も定数に準じて、減数を行うとともに、組織体制の強化とコンパクト化を図りました。更に、正副会長会(三役会)を活性化し、計画的な事業執行に取り組みました。また、財政を鑑み、役員報酬の減額にも取り組みました。

〈正副会長会議の開催(三役会)〉

	期日	審議事項
第1回 三役会	平成29年 5月29日	理事会・評議員会提案事項について 一年間の予定と社協の懸案事項について 組織運営・課題についての協議
第2回 三役会	平成29年 9月5日	理事会・評議員会提案事項について 組織運営・課題についての協議
第3回 三役会	平成29年10月31日	懸案事項について(財政状況と今後のことについて)

〈理事会、評議員会、監事会の開催〉

	期日	審議事項
第1回 理事会	平成29年6月6日	・平成28年度事業報告について ・平成28年度一般会計決算について ・理事・監事の選任について ・役員の報酬に関する規定について ・評議員の報酬等に関する規定について ・会員規定の一部改正について ・委員会に関する規定の一部改正について ・経理規程の一部改正について
第2回 理事会	平成29年6月22日	《議事》 ・東近江市社会福祉協議会会長、副会長及び常任理事の選任
第3回 理事会	平成29年9月11日	《報告事項》 ・平成29年度事業実施状況報告（4～7月） ・東近江市指導監査の報告について 《議事》 ・専決処分事項の承認を求めることについて ・平成29年度一般会計補正予算について（第1号） ・専決処分事項の承認を求めることについて ・平成29年度一般会計補正予算について（第2号） ・平成29年度一般会計補正予算について（第3号） ・第三者委員会委嘱に関し、理事会の同意を求めることについて ・個人情報取り扱いに関する規定の全部変更について ・第2回評議員会の招集並びに提案事項について
第4回 理事会	平成29年12月13日	《報告事項》 ・平成29年度事業実施状況報告（8～10月） 《議事》 ・平成29年度一般会計補正予算について（第4号） ・評議員辞任による候補者の推薦について ・職員の育児・介護休業及び育児・介護短時間勤務に関する規則の一部改正について ・職員就業規則の一部改正について ・非常勤職員就業規則の一部改正について ・給与規程の一部改正について ・財政状況と今後の組織運営について ・第3回評議員会の招集並びに提案事項について

第5回 理事会 (書面決議)	平成29年12月25日	《議事》 ・給与規程の一部改正について
第6回 理事会	平成30年3月22日	《議事》 ・平成29年度一般会計補正予算について(第5号) ・職員就業規則の一部改正について ・非常勤職員就業規則の一部改正について ・役員の報酬等に関する規程の一部改正について ・評議員の報酬等に関する規程の一部改正について ・委員会に関する規程の一部改正について ・平成30年度事業計画(案)について ・平成30年度法人単位資金収支予算(案)について ・第4回評議員会の招集並びに提案事項について
第1回 評議員会	平成29年6月21日	《議事》 ・平成28年度事業報告について ・平成28年度一般会計決算について ・理事・監事の選任について ・役員の報酬等に関する規程について ・評議員の報酬等に関する規程について ・会員規程の一部改正について ・委員会に関する規程の一部改正について
第2回 評議員会	平成29年9月19日	《報告事項》 ・平成29年度事業実施状況報告(4~7月) ・専決処分事項の報告について ・平成29年度一般会計補正予算について(第1号) ・専決処分事項の報告について ・平成29年度一般会計補正予算について(第2号) ・第三者委員の選任について ・個人情報取り扱いに関する規程の全部変更について ・東近江市指導監査の報告について 《議事》 ・平成29年度一般会計補正予算について(第3号)
第3回 評議員会	平成29年12月22日	《報告事項》 ・事業実施報告について(8~10月) ・評議員辞任による選任について ・職員の育児・介護休業及び育児介護短時間勤務に関する規則の一部改正について ・給与規定の一部改正について 《議事》 ・平成29年度一般会計補正予算について(第4号) ・財政状況と今後の組織運営について

第4回 評議員会	平成30年 3月29日	《報告事項》 ・職員就業規則の一部改正について ・非常勤職員の就業規則の一部改正について 《議事》 ・平成29年度一般会計補正予算について(第5号) ・役員の報酬等に関する規程の一部改正について ・評議員の報酬等に関する規程の一部改正について ・委員会に関する規程の一部改正について ・平成30年度事業計画(案)について ・平成30年度法人単位資金収支予算(案)について
第1回 監事会	平成29年 5月23日	平成28年度事業・決算監査
第2回 監事会	平成29年 8月30日	平成29年4～6月事業・会計監査
第3回 監事会	平成29年12月 4日	平成29年7～9月事業・会計監査
第4回 監事会	平成30年 2月23日	平成29年10～12月事業・会計監査
法人指導監 査(市)	平成29年 8月30日	法人運営・事業・会計監査(1年度分)

<評議員選任・解任委員会の開催>

	期日・出席者	審議事項
評議員選任・ 解任委員会	平成29年12月18日 選任・解任委員4名	・評議員の選出について

(2)事業運営の透明性の向上を図りました。

財務諸表や現況報告書、県や市の補助金等の情報開示を行いました。

また、社会福祉法の改正による社会福祉法人の財務諸表電子開示システム(ワムネット)や、本会のホームページ、広報誌による情報公開を行いました。

(3)財務規律を強化しました。

社会福祉法人の会計基準に則り、適正かつ公正な支出管理を実施。

評議員や役員の報酬基準を公表しました。

(4)自主財源の確保と有効活用。

①市社協会費のあり方と活用

社協会員の加入を促進し自主財源の確保に努めました。

	平成28年度	平成29年度	
	実績額	件数	実績額
一般会費(一口500円)	12,132,519円	各世帯	12,061,378円
特別会費(一口1,000円)	2,995,000円	1,752件	2,945,000円
会費合計	15,127,519円		15,006,378円

【評価と課題】

一般会費の内、2自治会については自治連を脱会されており、直接自治会へと出向き依頼を重ねることによって、会費にご協力いただきました。一方で少しずつ会費納入額は減少してきており、市民の皆さんに納得してご協力いただけるような社協活動と周知方法を検討する必要があります。

また、民生委員・児童委員の皆さんにご協力いただいている特別会費について、特別会員の皆さんに感謝の気持ちを込めて、お礼状をお渡しするよう改めました。

②共同募金助成金の有効な活用の検討

市社会福祉協議会費と同様に、共同募金の募金額が減少している中、寄付者の賛同が得られる有効活用に向けた検討の場を設けました。また、テーマ型募金「見守り活動支援募金」「子どもを事故から守る募金」の活用として、見守り活動を始める団体の準備金に対する助成の立ち上げや、社協の行う共同募金助成金が財源となっている各種助成金の要綱の見直しについても、検討を行いました。

また、事務局を担当する赤い羽根共同募金運動を一層推進し、地域福祉財源の確保に努めるとともに、適正な活用や助成を行うため、審査委員会の活性化を図りました。

③善意銀行の有効な活用の検討

市民の善意で寄せられる寄付金・物品について、地域福祉活動により柔軟かつ効果的な活用ができるよう検討を行いました。

(5)「第三者委員会」の活性化

市民や利用者に第三者委員会の一層の周知を行い、苦情解決や虐待防止に努め、事業改善に向け法人として対応を行いました。

開かれた第三者委員会として、法人運営全体の委員会運営となるよう活性化を図りました。

・第三者委員会の開催

	期日	内容
第1回 第三者委員会	平成29年9月27日	苦情(18件)・事故報告(39件)
第2回 第三者委員会	平成30年2月28日	苦情(12件)・事故報告(41件)

(6) 日常業務の円滑な実施のため課長会議ならびに主幹会議を定期開催し、情報の共有化を図ると共に職員の共通認識を高めました。

- ・課長会議 13回
- ・課長主幹会議 6回(財政再建検討、職員の働き方検討等)
- ・主幹会議 12回(各課・事務所・事業所へ伝達)

2. 自発性・開発性・柔軟性のある事業活動を構想、実践できる組織を目指します

- ・市内の社会福祉法人に呼びかけ、本会が実施する研修に案内し、共に学び地域福祉力の向上に努めました。
- ・地域福祉推進に不可欠な行政とのパートナーシップ向上を図りました。
- ・介護予防教室を実施しました。
- ・毎月1日・15日にハートピア前の交差点、毎月15日に能登川南小学校前等で交通安全啓発運動を実施しました。

3. 経営管理の見直し＜総務課＞

（事業管理や財務管理、人事管理、所轄庁などへの法務業務など）

経営管理について、組織課題の分析を行い、適正な事業・財政・人事管理ができる組織運営を図るため、育成・評価・処遇を一体化した人事考課制度を導入しました。

- （1）事業管理や財務管理、人事管理、所轄庁などへの法務業務など、社協の財政規律と財政再建を行うため、短期的な改革と中長期的な財政健全策を計画し、一部実行しました。

- ①居宅介護事業所の廃止に向けた取り組み
- ②広報誌の発行回数の減数の決定
- ③各種助成金の見直し
- ④訪問介護事業所の統合
- ⑤職員数の削減
- ⑥職員給与の昇給停止

- （2）人事考課制度の導入

職員一人ひとりが基本理念・基本目標の達成に向け、職員のプロジェクト会議で設定した8つの職員像を目指して人材育成を行いました。また、制度導入に伴い、考課者および被考課者研修を実施しました。

◎8項目の目指すべき職員像

1. 地域や住民との関わりを持ち、信頼関係を築く人。
2. 様々な事柄に興味関心を持ち、情報の収集や活用を多彩に行う人。
3. 基本理念に基づいて、自ら考え、果敢に挑戦し、責任を持って行動する人。
4. 社会や組織の一員としての自覚を持ち、周囲と協力しながら努力を惜しまず成果を追い求める人。
5. プロフェッショナル意識を持ち、広い視野と深い見識の習得に意欲的な人。
6. 相手の立場に立ち、認め、可能性を信じて誠実に接していく人。
7. 自己管理を怠らず、自らを律し、相手のアドバイスを真摯に受け容れ実践する人。
8. チームワークを重んじ、周囲を巻き込みながらリーダーシップを発揮する人。

◎人事考課 考課者・被考課者研修

5月15日

4. 職場体制を整備します＜総務課＞

市民の期待に応えられる職員の育成を行いました。

(1) 社協構成員としての職員の働き方改革について検討を行いました。

職責別研修体系の確立に向けた検討を行い、資質向上のため必要な研修を計画し積極的に参加しました。また、新任職員については、配属先の研修だけでなく、社会福祉協議会が目指す使命を理解し、組織の一員として自覚がもてるよう、他業種体験も含めたカリキュラムによる実地研修を行いました。

①内部研修

◎新任職員研修

◎役職や業務ごとの階層別研修（キャリアパス研修）

◎専門分野ごとの研修

◎事例検討による研修

◎交通安全研修

◎職員財政説明会

◎全員研修など

②外部研修

◎全国レベル、県・県社協で実施される研修への積極的参加

③自己啓発研修への参加促進

(2) 職員不足に対応するだけでなく、一社会福祉法人として、就労に支援を必要とする若者や障がい者、高齢者の採用に努めました。

(3) 災害発生時の職場内の体制を確立するため職員によるプロジェクト会議を設置し、検討を行いました。

(4) よりよい職場環境づくりの推進

すべての職員が、仕事と子育てや介護を両立し、生き生きと働きがいをもって継続勤務できることを目指す新たな5ヵ年を期間とした一般事業主行動計画により、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を支援するため、雇用環境の充実に図りました。

◎ハラスメントのない職場作りのための検討会議の開催

◎ストレスチェックの実施

職員のストレスの程度を把握し、職員自身のストレスの気づきを促すとともに、職場改善につなげ、働きやすい職場づくりを進めました。

◎休職者の定期面談（月1回）

◎休職者の復職委員会の開催

◎特定職員に超過勤務が集中しないよう業務の分散化と業務分担の見直し

◎安全衛生委員会の開催

◎健診の要再検査の者への二次検査促し

- ◎職員の健康管理のひとつの手段として「ノー残業デイ」を徹底
- ◎職員の夏季特別休暇の完全取得および年次有給休暇の取得の推進
- ◎職員の健康管理と確実な休日取得が行えるよう月単位の変形労働制の導入
- ◎本会の全職員が安定した雇用により、安心して働けるよう、無期雇用契約の仕組みを整備

5. 住民のくらしを丸ごと支える包括的な相談支援を目指します＜相談支援課＞

複合的かつ多様な課題を抱える相談者を丸ごと受け止め、寄り添った支援ができるよう、次のことを意識し実践する4課合同のケース検討会等を開催しました。

- ①各課・各事業の持つ強みと役割を認識し、職員一人ひとりが社協全体で個別相談の解決に取り組む意識と力をつける
- ②ケース検討会で学んだことを、次の相談に活かせるようにすることで、早期解決につなげる
- ③困りごとを抱えた方を早期に発見するためだけでなく、地域で暮らしていくことを支援する視点で、住民や民生委員、関係機関とどのようにつながり、つなげていくか

6. 地域福祉推進の一環としての社協らしい在宅福祉サービスを目指して ＜在宅福祉課＞

- ①利用者ニーズと制度の採算性による事業に実施について

日頃それぞれの事業所ごとに介護サービスを提供している職員が利用者との普段の関わりから「気になる人」「気になること」をキーワードに話し合いを重ねました。

在宅福祉サービスを取り巻く現状の理解と課題の共有から今、自分たちが出来ること、やるべきことを挙げ、今後の事業展開に結びつける話し合いを行いました。



- ②サービスの質が保証できる事業展開

これまで個々の職員が受けた研修実績を整理し、職員にとって段階的に研修が受けられる計画性を持った研修計画へつなげました。

- ③地域福祉を推進する在宅福祉

経済的理由により介護が受けられない方、認知症がすすみ、近隣から孤立されている方など介護サービスの提供だけでは暮らしづらい方について、困りごとの確認や支援の方向性について、相談支援課、地域福祉課と連携した支援のための事例検討を行いました。

今後も引き続き事例検討を行い、介護サービスの提供だけではできない複合的な困りごとの解決につながる支援に取り組めます。

④市内の他事業所との協議協働

市内の訪問介護事業所に声をかけ 10 事業所（うち社協 4）32 人が集まる場を設け、ヘルパーとしての悩みや思いを共有しました。

悩みや思いの共有に留まらず、東近江市の訪問介護の質の向上につながる集まりになるきっかけができました。



7. 施設運営・管理

市施設（指定管理）・市社協所有施設を運営する上で、広く市民からのニーズに応え、安全安心に利用していただけるよう環境整備を行い、地域に開かれた施設として適切な運営管理を行いました。

（1）市施設の指定管理・運営（2 施設）

◎東近江市福祉センターハートピア

【貸館業務】

総合的な福祉センターとして幅広い層の利用があり、貸館での来館をきっかけとした相談・支援なども行いました。

- ・年間貸館利用者数 1,129 件 延べ 16,155 名

【維持管理業務】

来館者の安全確保を最優先に、清掃や施設・設備点検等の日常巡視点検、保守管理および簡易修繕を行い、施設の健全なる保全を図りました。

【自主事業】

小地域福祉活動、相談支援事業、地域福祉権利擁護事業、ボランティアセンター事業、子育て支援事業、福祉図書・福祉関係ビデオの貸出、福祉共育事業、訪問介護事業、通所介護事業

◎能登川障害福祉センター水車野園

【維持管理業務】

来館者の安全確保を最優先に、清掃や施設・設備点検等の日常巡視点検、保守管理および簡易修繕を行い、施設の健全なる保全を図りました。

【受託事業】

- ・地域生活支援事業 障がい者デイサービス事業
事業実施日数 241 日 延べ 1,391 名
- ・利用者との地域の交流 水車まつり、水車カフェ
- ・障がいの当事者団体への支援および連携
- ・障がいの当事者団体への施設の開放
- ・ボランティア育成、支援および連携

（2）市社協施設の維持管理・運営（5 施設）

◎ゆうあいの家

◎せせらぎ

◎ちやがゆの郷

◎かじやの里の新兵衛さん

◎デイサービスセンターあさひの